System-V [500] [510] 相 続 税 申 告 書 [530] [540] ワープロ版相続税申告書

(21.9)

【取扱説明書】





相続税申告書プログラムの総説

概 要 ・・・・・ 1 プログラムの呼び出し方 ·・・・・ 2 操作の流れ ·・・・・ 3

入力・訂正機能

各キーの機能説明5住所入力の便利な機能7相続税申告書画面全容8

操作説明 (入力)

データの入力・訂正 ・・・・・ 9

各表の特徴

〔1〕:被相続人の登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
〔2〕〔3〕:相続人の登録1・2 ・・・・・・・・・・・・・・・・	13
〔11〕〔12〕:第1表 ••••••••••••••••••••••••••••••	16
〔20〕:第2表 ·····	18
〔30〕:第3表 ·····	20
〔40〕:第4表 ·····	22
〔41〕:第4表の付表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
〔42〕〔43〕:第4表の2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
〔50〕:第5表 ·····	25
〔60〕:第6表 ·····	27
〔70〕:第7表 ·····	29
〔80〕:第8表	31
〔90〕:第9表	32
〔100〕:第10表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
〔1〕~〔15〕〔30〕:第11表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
〔110〕:第11の2表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
〔111〕:第11・11の2表の付表1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
〔113〕〔114〕:第11・11の 2 表の付表 1 (別表 1) ・・・・・・・・・・	42
〔121〕~〔126〕:第12表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
〔131〕~〔134〕:第13表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
〔141〕〔142〕:第14表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
〔151〕〔152〕:第15表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
〔160〕~〔165〕:修正第1表 ······	49
〔96〕~〔98〕:連動計算1・2・3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50

ワープロ版相続税申告書

概要5 1各表の入力の特徴5 2各表の網掛表示の内容5 4

操作説明 (出力)

プリントの操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58 ページプリンタの用紙セット方法 ~手差し~(NPPシリース`)・・・・・ 60 ページプリンタのオフセット補正プログラムの操作

(印字位置調整) · · · · · · 61

相続税入力の注意	点	
相続税申告書入力上の注意点	•••••	付録1~7

年度更新及びユーティリティ・その他メンテナンス操作については 「[F9][F10][F17] GPメンテナンスプログラム取扱説明書」をご覧ください。

概

要

- 1. このプログラムは、相続税申告書について必要なデータを画面上で入力し、A4白紙及び OCR用紙(第1表、第11・11の2表の付表1、第15表)にプリントするものです。
 - 1)作成できる表は下記の全21表です。< >内は、出力可能枚数です。

[500] 相続税申告書A			
第1表(続を含む)<8>	第7表<3>		
第2表<1>	第8表<1>		
第3表<2>	第9表<3>		
第4表<4>	第10表<3>		
第4表の付表<4>	第13表<4>		
第4表の2<5>	第14表<5>		
第5表<1>	第15表(続を含む) < 8 >		
第6表<2>	修正申告書第1表(続を含む)<8>		
[510] 相続税申告書B			
第11表<15>			
第12表<6>			
第11表の2表<2>			
第11・11の2表付表 1 (続を含	含む) < 4 >		
第11・11の2表付表1(別表 ⁻	1) < 8 >		

- 2) 画面表示は用紙の図柄どおりに設計してあります。
- 3) データの入力・訂正・追加・抹消が容易にできます。
- 4)入力可能最大桁数は各表によって違います。また、入力した金額の桁数が多くなります と、枠内に収まるように自動的にカンマ抜きで表示しプリントします。
- 2. 1ユーザコードで、各表15人の相続人に対応できます。
- 3. 各表内での計算項目は、自動的に計算を行います。 また、各表間の自動転記及び連動計算機能があります。
- 4. プリントは、A4白紙に全21表を出力します。カラープリンターをご使用の場合は、 枠などを茶色で出力することができます。

ラムの呼び出し方
Image: 1/2 1. 申告・個人・分析を選択します。
エテム 「単実指定 *# Off 「シンカ Tak カ till 内 till h ti
PRE 72- PRE 72- PRE 72- PRE 72- PRE 72- REF REF S2 PRE 72- REF REF REF REF REF REF REF REF REF S2 REF S3. 相続税申告書の画面を表示します。
 距⊒∽へ圓終了]

٦

- 1. 入力・訂正相続税申告書データの入力及び訂正を行います。
- 2. プリント 相続税申告書を白紙A4用紙及びOCR用紙にプリントします。
- 3. ユーティリティ ユーザリスト、データのコピー・ユーザ名変更・コード番号変更 及びデータ削除を行うことができます。

操作の流れ

入力は【操作の流れ】に沿って行うと自動計算や転記がスムーズに行えます。 各表ごとに転記項目の確認を行ってください。

<一般の場合>

被相続人登録

相続人登録

第9表

第10表

第11・11の2表 付表1(別表1)

第11・11の2表 付表1

第11表

第13表

第14表

第15表

第1表(~ まで)

第2表

第1表(B・から)

第4表の付表

第4表 第1表()

第4表の2 第1表()

第5表 第1表()

第6表(未成年) 第1表()

第6表(障害者) 第1表()

第7表 第1表()

② 第8表

② 第1表(①~②)

② 第1表(②~②)

24 連動計算 [96~98]

連動計算
入力順によって、自動転記が正しく 行われない場合があります。 全て終了しましたら必ず 連動計算 を 行ってください。

<農業	相続人がいる場合> 被相続人登録	
	相続人登録	
	第9表	
	第10表	
	第11の2表	
	第11・11の2表 付表1(別表1)	
	第11・11の2表 付表1	
	第11表	
	第12表	
	第13表	
	第14表	
	第15表	
	第1表(~ まで)	
	第2表	
	第3表(~ まで)	
	第2表(~ まで)	
	第3表(~ まで)	
	第1表(・ ・)	
	第3表(~ まで)	
	第1表 (B・ から)	
(21)	第4表の付表	
22	第4表→第1表(⑪)	
23	第4表の2 → 第1表(⑫)	
24)	第5表→第1表(⑬)	
25	第6表(未成年)→第1表(⑭)	
26	第6表(障害者)→第1表(⑮)	
2	第7表→第1表(⑮)	
(28)	第8表	
(29)	第1表(⑪~⑫)	連動計算
30	第8表	入力順によって、自動転記が正しく 行われない場合があります。
(31)	第1表(⑬~⑮)	全て終了しましたら必ず 連動計算 を 行ってください。
32	連動計算 [96~98]	**

入力・訂正機能(各キーの機能説明)

各キーには以下の機能があります。

【項目を移動するキー】

Enter	次項目に進みます。
\rightarrow	次項目に進みます。
← TAB	1項目前に戻ります。
	1行下に進みます。
1	1行上に戻ります。

【訂正時に使うキー】

$\leftarrow \rightarrow$	1 文字ずつカーソルが移動します。
Delete	カーソルの文字を 1 文字ずつ消します。
Back Space	カーソルの1文字前の文字を消します。
END	カーソルの文字以降を全部消します。
抹 消(F4)	1項目に入力されたものを全部消します。
Shift + → 後 → ←	訂正したい文字のある項目にカーソルを止め 項目内でカーソルが移動できます。

【画面を切り替える時に使用するキー】

Home	画面サイズを変更します。
Page Down Ctrl + ↓	画面を下へ移動(スクロール)します。
Page Up Ctrl + ↑	画面の上へ移動(スクロール)します。
$\begin{array}{ c c }\hline Ctr I + Page Down \\\hline Ctr I + \rightarrow \end{array}$	画面を右へ移動(スクロール)します。
Ctrl + Page Up Ctrl +	画面を左へ移動(スクロール)します。
Page Down	複数頁入力できる表の場合、次頁へページめくりします。
Page Up	複数頁入力できる表の場合、前頁へページめくりします。 - 5 -

【計算するキー】

演

算 (F7) 入力した金額を集計し、計算結果を表示します。

【行編集するキー】

行編集)(F6)ブロックごとデータの入替などを行います。
操作したいブロック内にカーソルを移動し、(F6)をファンクションキーまたはマウス左クリック
で選択します。

- |行 抹 消|(F2) 1 ブロック内のデータ削除
- 行 挿 入 (F3) 1ブロック内のデータ挿入
- │行 入 替│(F4) ブロック内データの入替
- <u>終・HOME</u>(F5) 行編集の終了 (行編集中はカーソルが移動できません)

【登録や終了時に使うキー】

 全 終 了 (F5)
 入力したものを登録します。

 登録が終了すると最初の画面に戻ります。

 HOME
 又は

 データを書き込まずに終了します。

Shift + 終·HOME (F5)※プリント時は無効です。

【記憶に使うキー】

Insert

入力してある項目を記憶し、他の項目欄にコピーします。

<操作方法>

××銀行	
△△銀行	
	_ ►

- 1) コピー元の項目にカーソルを移動させ <u>Insert</u> を押します。(記憶させます)
- コピー先の項目(空欄)にカーソルを移動させ
 Insert を押しますと、コピー元の項目の内容が コピー先の項目に表示されます。

住所入力の便利な機能

7 桁郵便番号変換ができます。(全プログラム共通)

- 例)東京都千代田区神田松永町と入力する場合:郵便番号は、「101-0023」となります。
 - 101-0023 と入力し、スペース を1~2回押します。 画面左下の表示が

 101-0023 → 東京都千代田区神田松永町 → 千代田区神田松永町
 - 2. 上記のように変換していきますので Enter を押して決定します。
 残りの住所は手入力となります。

※ Windowsの漢字変換の設定により変換できる場合とできない場合があります。



各項目は、各用紙によって項目名が違います。

ω

データの入力・訂正

1.ユーザコードを指定します。 ユーザコード Enter を押します。(最大桁数:6桁) 新規登録の場合は年度、社名を入力します。 「年度 Enter、社名 Enter を押します。
財務XIII-(pts/0)
○年以降用 相続税申告書A 年 度 ・・・・・・ 令和 ○ ユーザコード ・・・ 4 ユーザ名 ・・・・ 国税 太郎
《業務選択》
1: 入力・訂正 2: プリント 3: ユーティリティ
N o ····

- 2.入力・訂正を選びます。

 Enter を押します。
- 3.入力・訂正を行う用紙を選択します。 表番号 [Enter]を押します。

○年以降用 相続税日 《表過	申告書A 選択》	ユーザコード ・・・ 4 ユーザ名 ・・・・ 国税	年度 ··令和 ○ 太郎
1:被相続人の登録- 2:相続人の登録-1 3:相続人の登録-2 11:第1表-1 12:第1表-2 20:第2表 30:第3表 40:第4表 41:第4表の付表	42:第4表の2-1 43:第4表の2-2 50:第5表 60:第6表 70:第7表 80:第8表 90:第9表 100:第10表 131:第13表-1 132:第13表-2	133:第13表-3 134:第13表-4 141:第14表-1 142:第14表-2 151:第15表-1 152:第15表-2 160:修正第1表 161:修正第1表続-1 162:修正第1表続-2 163:修正第1表続-3	164:修正第1表続-4 165:修正第1表続-5 96:連動計算-1 97:連動計算-2 98:連動計算-3
表番号 ・・・ [

4. 画面上に選択した用紙の各部を表示します。 必要な項目にデータを入力します。

■メ モ

< データの書込みについて >

入力及び訂正を終了する時は、 業務選 (F2)または 終了 (F5)を押して必ず データの書込みを行ってください。

データの書込みをしないで終了した場合、画面上で入力・訂正したデータは全て消えて しまいます。

< データ書込み中止について >

入力及び訂正をしたデータを書込まずに中止する時は、Shift + F 5
 または Home を押します。
 画面に1.継続、2.終了と表示が出ますので、2 を押してください。
 データ書込みを中止したくない時は、1 で入力画面に戻り継続できます。

< 自動計算項目について >

入力画面上、自動計算を行う項目はカーソルは止まりません。計算結果を表示する場合 は、[演算](F7)キーを押してください。その時点で入力されているデータを元に計算 結果を表示します。 自動計算は表内で行います。他表への転記は行いません。

< 初期値設定について >

基礎控除額や割合は税法が改正になった場合、すぐ対応できるよう手入力項目になって います。金額や割合が変更になった場合は、入力画面上で数値を手入力にて変更して ください。空欄の場合、[演算](F7)で初期値を表示します。 第2表、第6表、第9表、第10表、第11・11の2表の付表1に初期値が設定されて います。



< 行編集について >

ー覧表形式の表は、行ごとの入替や挿入のできる機能がついています。(第11表など) 行の始め(左端)にカーソルを移動し <u>F6</u>キーを押します。

画面下部のファンクションキー見出しに、



[1]:被相続人の登録

この画面は、各表右上にプリントする年度と第1表の上部"被相続人"の項目を入力します。 それぞれ必要な項目を入力してください。

また、ここで入力した氏名が、各表の右上部の"被相続人"と連動していますので、 正式名称で入力してください。

<	Ш	面	>
---	---	---	---

**	相続税申	4告書 **				PAGE:1	
«	被相	続人の登録 》					
	春日音	7 税務署長	〇年	2月4	日提出		
		相続	開始生	F月日 ·	<u> 今和 ○年 5月11日</u>	>>	第7表 ———
被打	住所	埼玉県春日部市〇〇〇 3丁目5番16号)	生年月日日	昭和 〇年10月19日	10000	今回の相続年月日
新	もフリカッナ	जर्रर देवप्रे		年齢	<u>74</u> 歳		
	氏名	国税 太郎	職業	00 代表	商事株式会社 取締役		

1000	目部 ₩2			日 月9日 相続開始年	1772 二月日令	- V. 	/ 叶 早 5月	10 =	5	首	(※ 半 登)	期已經是	E E	#	月	
07.8	son, e	FRALE(R)	04	1998 J.)	1847 A 6	69 8 a ft	à	. #		「 第一日 1月111日 1月1111日 1月1111 1月11111 1月1111 1月1111 1月1111 1月111 1月11 1月11 1月111 1月11111 1月111 1月111 11111 11111 11111 11111 11111 11111 1111	ছ হ ছ মন্দ্র	得	した	Å		
8 1					国税	太郎				国税	花子				- 200	orecec . 8考
. 1	88人香冬	丈は鉄人香 多				-			-	1	2 3 4	56	78	3 9	0 1	2
H' 4	2 4	月 日	Bg	70 20 ₩	10,9 1	98	(年龄	75 e	汞)	8970	27# 9	月 21	B	(年時)	68 .	(現)
t	⊞ (¥82.3	हर इ. क. इ. (. इ. क. इ.	10 R	埼玉県 (春日部 2000	市 3丁目	15番	16号	0	〒344-5 春日音 16号	2000 部市不動	院野	31,目	5番	3	
	加	結趙	Ð	総	友百	 Д	≡+	皆				E	I€ď	大郎	_	_
4	相 この表は なお、彼	続 税 . 第1ま及び 相続人から相 の表の命欄及	の 第3まの 読、逸贈 び②欄並	総 「相続税」 や相続時 びに ② 欄	有 新 算 調 1 からの ・	の計算 の計算 税に係	言十 (のため る贈与)	算 に使用 によっ する必	目します のて財産 と要がす	「 こ た 取得 ちりませ	波相読人 した人の· ん。) ta Ic.]税 _{喪業相}	太郎	រំប្រជួ	L1
	木目 この実は なお、彼 合は、こ D 課税	続 税 - 第1まなび 相続人から相 の表の都備及 価格の合計	の) 第3まの 読、遺贈 び②欄並 十額	総 「相読税」 や相読時 びに 図欄 図 造	安白 の総額」 (からの) 産に	の計算 の計算 税に係 様 様	言十 (のため る贈与) は記入 る 基	算 に使用 によっえ 確	目します。 こで財産 と要がす	また で こ で 取得 ありませ 額	波相読人 した人の ん。 ③ 課	国 うちに、 税]税 _{農業相} 造	太郎 職人た 産	⁵ しいな 能	L) 額
	この表は、こ なお、彼らは、こ D 課税	続 税 - 第 1表及び 相続人から相 の表の都構及 価格の合計 496.03	の 第33表の 続、逸贈 び②欄並 十 額 円 31,000	総 「相読靴, や相読時 びに 20 通 。 万氏	を 百 () () () () () () () () () ()	の計算 税に係 欄まで 係 () 万円	= = = = = = = = = = = = = =		に 目します うて財産 と要がす 控 除 の	計 :を取得 いませ 額 万P	波祖號人 した人の ん。	国 うちに、 税 ③)]税 _{農業相} 造	太郎 職人 産 43	^{រសេ} រដ្ឋ រដ្ឋា	し) 新 F 1,000

[2][3]:相続人の登録 1・2

この画面は相続人を登録します。

[2]の画面で相続人10人、[3]の画面で相続人5人の計15人分の入力が行えます。 それぞれ必要な項目を入力してください。ここで入力したデータが<u>各表と連動しますので</u> 必ず入力してください。

< 画面 >

伯杭人NO.	1		
フリガナ	コウセッイ ハナコ	取得原因	<u>1</u> ← 相続····1 遺贈····2
氏 名	国税 花子		_ ← 贈与無・・・0 有・・・1
生年月日	昭和27年 9月21日 (68歳)	あん分割合	0,51
住 所	〒344-0000 春日部市不動院野3丁目5番	法定相続分	$\frac{1}{2} \times - \times - = \frac{1}{2}$
	16号	未分割割合	-1
電話番号	03 - 3333 - 0000	農業相続人	← なし・・・0 あり・・・1
続 柄	妻	2割加算	← なし・・・0 あり・・・1
職業	なし	養子制限	_ ← なし・・・0 あり・・・1
	i	相続放棄	_ ← なし・・・0 あり・・・1
配偶去	 1 ← 被相続人の配偶者は1 	参考記載	← なし・・・0 あり・・・1

<第1表>

-	<u>₹ 2 я</u>	4 日報出		相	统開始	早月	84	9.90	#	5,6	10	E.				ſ	8 P	b州 府	机的	H		4	月	
-	2715, 87k	ALTORAL		rist or	8	C.K.		.61			8897				ят нг н	版	e	康	得	L.	ħ	Y		
		70 7		19614	26/1		1 1	949							=						····			2007
_	B:	4				브	自祝		ß					L F	최 初	11	4	_					1	茶考
1	80 人香冬丈1	t 徐人書 争	ł				_		-	-		-	-		1	2	3	4 5	6	7	8	9	0	1 2
3	电 年	月目		89.70	20 🖛	10	月	19#		(牛約	7	5 🛲)		197 0	27	¥.	9.A	21	U I	(中的	68	歳)
	E	BF		h	新玉 県	春日	部	市	r et	⊆ #	10	무		下発1	諸号	-9000 部F	市不	動陸	锂予	3T,	目	番		
_		5.5.6	4		_		-	/0. The		0.18	10	4			9	9			666	- 22	20	0000)	
被相	魏人との統領	币 宠		~	_			f	日期間	RR.	8				婁					721	U			
- 3	农 得	原因		然当	する	肤得	原日	3 E	0 0	•	h #	\$.		(1		淮 9	8 - 1	8 3 81	* 78 5	1 20	RIC	保る	送 与	
	* * *	* +		/										-	-	~		I					Ι]
殿	永 孫 鮮 歴 (第118	の百姓	٩		5	0	1	3	3 2	1	5	1	円				2	5 8	1	4	6	3	5 () F
82	HART HART STATE OF	#(Ô)	٩			2	4	6	2 6	0	3	5		Ľ					L				I]
10	量金及び基本 (第13表	費用の金数 3(2))	3			2	7	4	1 5	9	4	0						3	3	5	9	6	0 0	J
0	発養 <u>産</u> 置額((東宇のと	①+②-③) きはの)			4	9	8	6) 2	2	4	6					2	5 4	7	8	6	7	5 (3
34	HARR SO	加加になる	8				3	0) ()	0	0	0						1	0	0	0	0	0 (J
筭	具 银 留 格 [],000円未	(④+⑤) 斎切捨て)	0		5	0	1	6	0 0	0	0	0	0				2	5 5	7	8	6	0	0 (0
4	ILENSEA.OB	着後に保る 主導控制数	7	3		4	8	0	0 0	0	0	0	Pie (を	03	東に	战	東の金	2 5	* の 記	2	同のま	9	D
人の	14 H H	の 始 政	0		1	8	1	7	3 0	0	0	0	*	().	.nt.	**	#0)	\$ 000	79239	(C 36	26	± 3.	1	
幕王	一般の場合	141.00E	8			i	4	00	1					0		5	1	T	1				Т	
祭 調	(市口等台市保心)	19:21	4		1	3	1	7	3 0	0	0	0	Ħ					6 7	2	0	7	8	0 0	0 F
のわ	C ALL	100	0						1					Ē				T	1				T	1
幕	加速長期の三		0	ПП		IT				Г			Ħ		Π			T	T				T	P
	10 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	Sec. 2	0			Ī			9 0	0	0	0		Ē			1	Ť	T	1			T	1
*	税 配得者の		0			6	5	2	5 2	5	0	0		F				6 5	2	5	2	5	0 0	
×	来成年	考控除数	Q			Ē			T	T		Ē		F				T	T				T	Ť
Ø	19 3 3 19 14 10	認識調	0			Ē		Fi	Ť	Î		Π		F				Ť	Î	T			Ť	Ť
計	控制款期	統控除数	0			П		4	2 5	0	0	0		F	Π			T	2	1	7	2	0 4	4
Ħ	A- 13 52	教控除数	0		П	П			T	1				F				Ť	T	1	1		T	1
3	1	₩	0		T	6	5	7	3 7	5	0	0		Ē			Ī	6 5	4	6	9	7	0 4	4
2	000	000	0			6	6	0	1 2	5	0	0					T	1	7	3	8	0	9 6	6
Ħ	THE WAR		8	min	T	П			T	T	0	0	1	F				T	T	Ē			0 0	n
82	医療法人拼分	RE XET 2 PARTY	8			T			Ť	1		F		F	П			Ť	T		1	T	1	T
颖	小 計(12)	- Ø - Ø)	2			6	6	0	1 2	3	n			F				1	7	3	8	0	0 0	
0	117 28 37	7 8 10	8			H	Ě		1	I I	ũ	n I		H				1	1	-			0 0	
24	(第8の8	(景切) 期限までに	-			0	0		1 2	0	0	0		H	H		-		7	0	0			
*	前祝該 前什	すべき税数	*			2	0	<u>v</u>	1	0	0	4						÷	ľ	0	0	U	0 1	4
21			-						1	1				10-			1	1	1	1				1
Contraction of the	6 49		-1	5.0 5.0		Ц	-		1014															
1.1	-		4.2	5					14.0		1017		1									新花		82.

相続人

各表で相続人氏名を表示する場合や 相続人ごとの集計を行う場合に必要とな りますので、必ず入力してください。 入力は番号の若い順に行ってください。 (第7表の計算が正しくできなくなる 場合があります)

各表の転記についてはP.15を参照してください。

住所

2行までは標準文字、3行目に入力がある 場合は小さい文字でプリントします。

職業

上段のみの入力は標準文字、上下段入力 の場合は小さい文字でプリントします。

続柄

ここで入力したものを第1表・第2表に 表示します。

配偶者

第5表の判定で必要になりますので、 配偶者に該当する場合は必ず「1」を 入力してください。

< 画面 >

相続人No.	1		
フリガナ	コクセッイ ハナコ	取得原因	<u>1</u> ← 相続・・・1 遺贈・・・2
氏 名	国税 花子		← 贈与無・・・0 有・・・1
生年月日	昭和27年 9月21日(68歳)	あん分割合	0.51
住所	〒344-0000 春日部市不動院野3丁目5番	法定相続分	$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}$
	16号	未分割割合	
電話番号	03 - 3333 - 0000	農業相続人	← なし・・・0 あり・・・1
続 柄	妻	2割加算	_ ← なし・・・0 あり・・・1
職業	なし	養子制限	_ ← なし・・・0 あり・・・1
		相続放棄	← なし・・・0 あり・・・1
配偶者	 1 ← 被相続人の配偶者は1 	参考記載	← なし···0 あり···1

未分割割合 —

未分割割合を分数で入力します。 この割合に入力がある場合、民法上の相続人 と判断します。 (未分割財産がない場合でも法定相続分と 同様の割合を入力してください。各表の計 算が正しく行われないことがあります。) 各相続人の合計が「1」になるように 設定してください。 未分割の財産、債務、費用などを各人に あん分する割合となります。 第7・9・10・11・13・15 表で使用

農業相続人

相続人が農業相続人の場合に「1」を入力 します。 第1・2・3・5・7・8表で使用

養子制限

相続人が法定相続外の養子の場合「1」を 入力します。 法定相続人の数に算入する養子の数は次の 通りです。 (・被相続人に実子がいる場合 ... 1人 ・被相続人に実子がいない場合 被相続人に養子の数が1人の場合1人 () 2人以上の場合 ...2人 養子制限に「1」を入力すると"法定相続 分"をクリアします。 第2表で使用 取得原因 一

第1表プリント時、相続か遺贈か相続時精 算課税に係る贈与の有無をみて をし ます。

あん分割合 –

第1表 と第3表 のあん分割合が予め 分かっている場合に入力してください。 直接第1表、第3表で入力も可能です。 農業相続人の場合は第1表に転記しま せん。

法定相続分
 相続人の法定相続分を分数で入力します。
 各相続人の合計が「1」になるように
 設定してください。
 合計が「1」でない場合は、相続税の
 計算が正しく行われませんのでご注意
 ください。
 法定相続分が設定している相続人を
 "法定相続人でない場合は分母分子と
 も0もしくは空欄にしてください。
 ・相続放棄する場合も、法定相続人の
 場合は法定相続分を設定してくだ
 さい。 第2・5・9・10表で使用

2割加算 -

相続人が被相続人の一親等の血族または 配偶者以外の場合は、相続税額の2割相当 の加算が行われます。 相続人が相続税額の2割加算に該当する 場合、「1」を入力します。 第1表、第4表 で使用

相続放棄 一

相続放棄をする場合は「1」を入力 します。 第1・7・9・10・13(債務)・15表で使用

~ 相続人登録 項目一覧表 ~

項目名	桁数	内容
相続人	半角 2	各表で使用
フリガナ	半角22	
氏名	半角20	各表で使用
生年月日	2/2/2/2	
年齢	半角 3	
住所	半角24	3段入力可能。2段までは標準文字
電話番号	6/4/4	
職業	半角22	上下2段入力
続柄	半角10	
配偶者	1(フラグ)	第5表の判定で使用
取得原因	相続・遺贈・贈与	第1表プリント時を印字
あん分割合	14	第1表・第3表の割合で使用
法定相続分	/	分母・分子の入力 第2・5・9・10表で使用
未分割割合	/	分母・分子の入力 第 7・9・10・11・13・15表で使用
農業相続人	なし or あり	第1・2・3・5・7・8 表で使用
2 割加算	なし or あり	第1表・第4表で使用
養子制限	なし or あり	第2表使用
相続放棄	なし or あり	第1・7・9・10・13(債務)・15表で使用

[11][12]:第1表



<u>(</u>	ポイント
	あん分割合
	相続人登録で入力できます。第1表で直接入力も行えます。 各人の合計が1.00になるように入力してください。 あん分割合に入力がないと 算出税額が計算されませんのでご注意ください。 農業相続人がいる場合は3表で計算しますのであん分割合を入力しても消えます。
	算出税額
	× を計算します。 <u>農業相続人がいる場合はクリアします。</u> フラグを入力することにより手入力も可能です。 の合計 = となるように調整して入力してください。
	算出税額
	農業相続人がいる場合、第3表 から転記します。
	は「円未満切り捨て」で計算します。切り上げの場合はフラグを入力し、 金額を手入力してください。

《注意》

22欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表⑨)がある場合の25欄の税額は、 フラグ「1」を入力し、手入力にて訂正を行ってください。

第1表相	続税	の申告書		4	< 1	人目>	PAGE:2
相続人NO	1		税	未成年	14		
氏 名	\square	国税 花子	額	障害者	15		
取得価額	1	259,896,350	控	相次	16	2	17,600
精算価額	2		除	外国税	17		
債務葬式	- 3	3,370,711		計	18	66,5	93,800
純資産	4	256,525,639	差	引税額	19	1,1	09,924
贈与財産	5	1,000,000	精	算控除額	20		
課税価格	6	257,525,000	医	<u>寮法人控除</u>	21		
基礎控除	B		小	計	22	1.1	09.900
総額	7	↓手入力する場合は1	納	说猶予税額	23		
一あん分	8	0.51	納	付税額	24		09,900
般 算出額	9	67,703,724	還	付税額	25		
算出税額	10					A	
加算税額	11					$\mathbf{\Lambda}$	
控贈与税	12						
除 配偶者	13	66,376,200					
1頁選択 2業	務	翼 🛛 🛔 🛛 擦	了	7	演	算 95	長切替 📃

「1」を入力して手入力

〔20〕:第2表



;	<u></u>	ポイント
		法定相続人
		相続人登録で " 法定相続分 " が 0 以外の人(放棄した人を含む)または " 養子制限 " が「1」(あり) の人を相続人 の若い順に表示します。
		□ 法定相続人の数
		相続人登録で"法定相続分"が0以外の人を合計して表示します。
		「 A 法定相続人の数」に含める養子の数について ・被相続人に実子がある場合 1人 ″ ない場合 2人
		上記の制限を越えた養子については、その人の氏名・続柄は印刷し、 「 □ 法定相続人の数」には含めないようにするには、相続人登録でその人を 次のように設定してください。 "法定相続分"… 入力しないでください。
		" 未分割割合 " 合計が「1」になるように入力します。 " 養子制限 " – 「1」(あり) を入力します。
		相続税の総額の基となる税額
		率および控除額は、 または の金額をもとに第2表の相続税の速算表から 計算します。
ł		

《初期值設定》

下記の画面項目を初期値設定しています。手入力で変更が行えます。 空欄の場合、 [演算] (F7)で初期値を表示します。

財務メニュー	財務メニュー
第2表 相続税の総額の計算書 PAGE:1	PAGE:7
第24 Holdboxesh0/al frain この表は第1表及び第3表の「相論世の総額」の計算のために使用します。 ① 課税価格の合計額 ② 遠流<(茶る基料登除額)	(相続稅速算表) 取得金額率 按除額 千円% 千円 10,000以下10 0 30,000以下10 0 50,000以下10 2,000 100,000以下40 17,000 200,000以下45 27,000 600,000以下55 42,000 600,000 25 72,000 600,000
■百選択[19/要務選] 目目 抹 消 目 終 了] 日 演 第 目 日 表表切替 日 日 一 日 満 第 日 日 表示切替 日 日 一 日 満 第 日 日 一 日 満 第 日 日 一 日 満 第 日 日 一 日 満 第 日 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一	■夏選択 ■業務選 ■ 抹 消 ■ 終 了 ■ 演 算 ■表切替

〔30〕:第3表



相続人登録の相続人の若い順に表示します。 ------

該当する相続人を入力	財産を取得した人のうちに農業相続人がいる場合の 各人の算出税額の計算書 彼相読人	第
してくたさい。 「氏名」および「年齢」を らむまニ」ます	 私は、使税特型措置法第70条の6第1項 相続税の納税 指子の適用を受ける の規定による良地等についての担抗症の納 税 猶子の適用を受けます。 (施) (施) 	豊業相続人の氏名 動 ())) ()))))))))))))))
	被相続人から相続、逸贈や相続時椿尊課税に係る贈与によって財産を取得した人のうちに農 特例農地等については農業投資価格によって課税財産の価額を計算することになりますので、 得した全ての人は、この美によって各人の算出税財を計算します。 単本を取得しましたです。	業相続人がいる場合には、 その被相続人から財産を取
第12表	取(得明確 (第12表面) ① (第12表面) ② (第12表面) ② (第12表面) ② (第12表面) ③ (第12表面) ③ (第12表面) ④ (第12 a) ④ (第	
	(面 1875/02/7743-02/HU)(近日) (第1表③) 役	
第1表 +第1表	の) ((①-(③) 三二(②-(③)) ④ 計 他在全国部二加算 24:13 年午期 ④ 第 他在全国部二加算 24:13 年午期 ⑤	
	課税価格(40+(20) (1,000円未満切捨て) (1,000円未満切捨て) (1,000円未満切捨て)	000 ,000
筆 1 表		
	の あん分割合(************************************	
	*** (⑦×各人の⑧) ⁽¹⁾ = ###### 相読税の 。 (第1表2回20全種)	(上の表の空の金額)
第1表	他、辰永18%。 総額の差額 ゆ 調 招子の途 ●参校床着絵編 0 〇	円
	の となる税 ●# 第11本部 (型) 計 額 ●いつのから時 例	
	算 (IIII)(Web(A)(0)=0.0) 容 合 分 の算出税額	
第2表		\rightarrow
<u> </u>		円円
	R/研加(年) (第12表面) (単) 理 で の 価額 その他の人 の	
第1表 - 第3表	税 (第1表2)+第1表2 (ジ) 価 (情務及び株式費用の金額 (水)	
	(第1表③) 格 (第1表③) の (のの 完: (例の) の	
	0) (UF-Q) ~ (UF-Q) (Q) (Q) (Q) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	
第12表	算 the second se	Sector and Sector and
	(1,000円未満切捨て) (1,000 ,000 ,000 ,000 ,000 ,000 ,000 ,0	000,000
	各 (第2表 ①) 人 あん分割合(巻人のの) の	
		円円
	額 人の納税 金額 2000年11月 商 指子の遊 海東 1242 ①	
	となる税 計 額 (100×年×∞①+彩) 位	
	☆ 各人の算出税額 (③+段) 13	
	(注) 1 「各人の算出税額の計算」の「農業相続人の納税組予の基となる税額」樹は、農業相続 2 各人の 參欄の金額を第1表のその人の「算出税額 ゆ」欄に転記します。	人だけが記入します。
	この場合。第1表の「一般の場合」の「あん分割合面」欄及び「韓出統額面」欄の記入 第3素	、を行う必要はありません。 (資4-20-4-64統一)
l		
)
	◎課税価格	
	各人の算出税額 第1表	
	相続税の総額第二第5表	
	純資産価額 第7表	
	純資産価額の合計 第7表 ⓒ	
	各人へのあん分額 第8表2-	
	算出税額 第8表2-	

ポイント

・ 相続税の納税猶予の適用を受ける農業相続人の氏名

該当する相続人 を入力してください。 相続人登録より「氏名」および「年齢」を自動表示します。

あん分割合

相続人登録で入力できます。第3表で直接入力も行えます。 各人の合計が1.00になるように入力してください。 あん分割合に入力がないと 算出税額が計算できませんのでご注意ください。

算出税額

× を計算します。(**円未満切り捨て**) フラグを入力することにより手入力も可能です。 の合計= となるように調整して入力してください。

各人へのあん分額

×各人の ÷ ®を計算します。(**円未満切り捨て**) フラグを入力することにより手入力も可能です。 の合計 = となるように調整してください。

[40]:第4表



= 自動転記 =

 1 相続税額の加算金額の計算書 相続税額の加算金額 第1表

[41]:第4表の付表

加算の対象となる人の氏名・控除を受ける人の氏名

該当する相続人No.を入力することにより自動表示します。

表の住害

=





- 23 -

[42][43]:第4表の2

-- 控除を受ける人の氏名

該当する相続人No.を入力することにより自動表示します。





〔50〕:第5表



ポイント 第 5 表 配偶者の税額軽減の計算書は、相続人登録で"配偶者"に「1」を入力し た人を判断し計算を行います。 相続人登録の"配偶者"を重複して入力している場合、正しく計算しません。 必ず1人だけ設定してください。
相続人登録で配偶者以外の人が農業相続人である場合は「2.配偶者以外の人が農業 相続人である場合」を計算表示し、それ以外の場合は「1.一般の場合」を計算表示 します。
第6委 配傷者の税鏈経滅額の計算者 PAGE:1 1. 一般の場合 2005年10月年の (部(高者相続分) 1. 一般の場合 2005年10月年の (部(高者相続分) 1. 一般の場合 1 2005年10月年の 1 1. 一般の場合 1 2005年10月年の 1 1. 一般の場合 1 1. 「教師学る債務及び書式書用の金額 0 1. 「好意の価値 0 1. 「好意。 0 <t< td=""></t<>
■夏滋沢【顕葉務選】

[60]:第6表



 自動転記

 1 との金額のうち少ない方
 第1表

 1 未成年者控除額
 第1表

 2 との金額のうち少ない方
 第1表

 2 障害者控除
 第1表

ポイント 相続人 未成年者または障害者を相続人 で指定します。 1.未成年者控除では20歳以上 2.障害者控除では85歳以上 の相続人 を入力した場合クリアします。

《初期值設定》

下記の画面項目を初期値設定しています。手入力で変更が行えます。 空欄の場合、「演算」(F7)で初期値を表示します。

N榜X二ユー			
第6表 未成年者控除額・障害者控除額の計算書	PAGE:1		
1. 未成年者控除			
未成年者 NO NO			
☆欧年者 2 10万×(20- 蔵) 2 + ○○○○、000円 + ○○○○、000円			
統税額 3			
· 養義務 NO NO NO NO			
1続税額 5 〒成年者			
除額 6			
[選択][]葉務選 目 抹 消 終 了 7 演 算	表切替		
豚務メニュー 第6表 未成年者特除額・障害者特除額の計算書	PAGE:5		PAGE:7
	1102.0		T AGE - 1
一般障害者		特別障害者	
		障害者 NU の氏名	
■		年 齢 1 歳 歳 障害者 20万 (85-歳) 20万×(85-歳)	
除額2 = 7,000円 = 7,000円 結税額3			
)-③ 4 泰義務 NOL		②-③ 4 抹棄熟惑 NO1 NO1	
の氏名		オの氏名	
1初70703月)		[11-50:05:68] D 障害者	
2 阿示		[行空 陈	
選択 🖾 葉務選 🔄 抹 消 🗟 終 了 🚺 🧧 演 算	表切替	■頁選択 ■業務選 ■ 抹 消 ■ 終 了	表切替







	自動転記		
1	控除額	第1表	

[90]:第9表





ポイント

受取人の氏名

受取人が相続人登録の"未分割割合"に入力がない場合、または"相続放棄"が 「1」(あり)の場合は「受取金額」「氏名」を直接第11表へ転記します。

保険金などを受け取った相続人の氏名

「1.相続や遺贈によって取得したものとみなされる保険金など」で入力した"受取人の氏名"のうち、相続人登録で"未分割割合"に入力があり"相続放棄"していない人が表示します。

非課税金額

④ × 各人の ÷ ⑤ を計算(円未満切り捨て)
 上段の手入力データを優先して計算します。
 円未満切り上げの場合は、金額を手入力してください。
 ⑥ の金額が④ の金額と同額となるように調整してください。

課税金額

- を計算

第11表の「財産の明細」の「価額」へ転記します。

《初期值設定》

下記の画面項目を初期値設定しています。手入力で変更が行えます。 空欄の場合、 <u>演算</u>(F7)で初期値を表示します。

第9表 生命保険金など	の明細書		PAGE	E:4
2 課題はわる全額の計算				
	定相続		- A	
保険金の非	の人数			
課税限度額 (500万円×)	5人 により計算	【した金額)・・・・>		
受取相続人名	①受取金額	②非課税金額	③課税金額	
甲野 花子	50,548,700	14,798,043	35,750,657	
甲野 一郎	2,307,000	675,370	1,631,630	
		9,526,587		
甲野 二郎	32,541,908	9,526,586	23,015,321	
	85,397,608	25,000,000	60,397,608	
〔100〕:第10表





ポイント 受取人の氏名 受取人が相続人登録の"未分割割合"に入力がない場合、または"相続放棄"が 「1」(あり)の場合は「受取金額」「氏名」を直接第11表へ転記します。 退職手当金などを受け取った相続人の氏名 「1.相続や遺贈によって取得したものとみなされる退職手当金など」で入力した "受取人の氏名"のうち、相続人登録で"未分割割合"に入力があり"相続放棄" していない人を表示します。 非課税金額 ④ × 各人の ÷ B を計算(円未満切り捨て) 上段の手入力データを優先して計算します。 円未満切り上げの場合は、金額を手入力してください。 ⑧の金額が④の金額と同額となるように調整してください。 課税金額 - を計算 第11表の「財産の明細」の「価額」へ転記します。

《初期値設定》

下記の画面項目を初期値設定しています。手入力で変更が行えます。 空欄の場合、「演算」(F7)で初期値を表示します。

.....

第10表 退職手当金などの)明細書			PAGE:6
2 課税される金額の計算				
退職手当金	相続]	ð. H	ŧ.
などの非課 入る	人数			
税限度額((500万円×	も人により計算	した金額)・・・・>	25,000,00	91
退職手当金など	① 受け取った	② 非課税金額	3	
を受け取った相	退職手当金	各人の①	課税金額	
続人の氏名	などの金額	(A× (B)	(1 - 2)	
甲野花子	55,000,000	25,000,000	30,000,00	
11	55 000 000	25 000 000	20.000.00	
				치

〔1〕~〔15〕〔30〕: 第11表



区分等の注記は1:第11表-1 Page1にも表示しています。



ポイント

後頁にある「相続税入力の注意点」付録3~付録5もご参照ください。

財産の明細

第9表・第10表・第11・11の2表の付表1から転記を行います。 転記する場合はM欄に以下のように入力してください。

> 「9」... 第9表より転記 「10」... 第10表より転記

「11」… 第11・11の2表の付表1より転記

転記するデータは1行ずつですので、データの数分M欄に該当数字を入力して ください。

例)

1001 相続税がかかる財産の明維書 区分の該当する書写を選択してください・・・ 区 分 1.全部分割(3.一部分割(3.全部未分割) 分割(3.) - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
-1 粗額税がかなる財産の明維書 区分の該当する新考を選択してください
区分の該当する番号を選択してください・・・ 区 分 1.全部分到 2.一部分到 3.全部未分到 分割の目 が が が が が が が の 明 離 日 約年の約成 約 の 明 た 部 の 明 離 日 約 の の の の の の の の の の の の の
[5] 分1.全部分到12.一部分到12.一部分到 分割の日 ・・・・・ 分割の日 第 一部 の 日 一部 の 明 編 日 約 和 日 約 名 一部 小 1 名 一部 一 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
734001 財産の明維 利用区次: 種類種目後柄等所在場所 101その他の財産101生命保険金 701その他の財産101生命保険金
利用区分。 種類 雑目 銘 柄 等 所 在 場 所 10 その他の財産 №1 生命保険金 10 その他の財産 №1 生命保険金 10 その他の財産 №1 生命保険金
7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
7 1
材産の明細 分割が確定した
<u>- 里 里 Ⅲ</u>
NO 甲野 花子
2,731,057 1
124,844 2
■業務選 ■ 抹 消 ■ 終 了 ■ 新 編集 ■ 演 算 ■ ■表

[30]合計表

財産を取得した人の氏名 相続人登録の"未分割割合"に入力の ある人または「財産の明細書」の "取得した人の氏名"に入力のある人を 全て表示します。

PAGE: 甘産取得 (各人の合計) 甲野 花子 甲野 一郎 /こ人の氏名 分割財産| り 価 額 ① <sup>
大</sup>分割財 497,743,186 310,604 産の価額 (2 各人の財 487,743,13 の価額 ③ \$10,604,35 70,837,3 二郎 甲野 三郎 こ山 幸子 57,610,22 各人の財産の価額 497,743,186 円

分割財産の価額

"取得した人の氏名"ごとに"取得財産の価額"を集計して表示します。 取得した人が配偶者で税額軽減の適用を受けようとする場合は、一般の場合 第5表の へ、配偶者以外が農業相続人の場合は へ転記します。

未分割財産の価額

取得人別の未分割財産の価額は未分割財産の価額の合計額を相続人登録の "未分割割合"で按分して計算します。(円未満切り捨て) 上段手入力優先項目です。各人のの合計 = (各人の合計)となるよう に調整してください。 取得人が配偶者で税額軽減の適用を受けようとする場合は、一般の場合は 第5表 へ、配偶者以外が農業相続人の場合は へ転記します。

各人の取得財産の価額

+ を計算します。

第1表の ヘ転記します。

取得人が農業相続人で納税猶予の適用を受けようとする場合は、第12表の 農業相続人の へ転記します。

〔110〕: 第11の2表

---- 贈与を受けた人の氏名

該当する相続人No.を入力することにより自動表示

します。(手入力可能)



贈与を受けた人ごとの合計額一

プリントは2ページで8人 まで表示が可能です。

記入	の 表 わ し 生 す	t、被相继人/ 	》日相銳	^鋂 犕藳課税	に係る贈る	まによって	て取得した	財建(帕鉛	地科特派訊	脱過用財家	豊) がある福)合に
1 t	相続	税の課税(除すべき!	西格に 曽与税	加算する; 額の明細	柿筋赤精	算課 税	適用財產	の課税	価格及び	ド納付す	べき相続	税額
5 5	00 開約 人の	毎登受けた の昭名	2 閏 与 年分	を受けた	2017年7月1日 100月1日日1日 100月1日日1日1日 1日した1月25日第四の日本 1日した1月25日第四の日本 1日日に1月1日日日 1日日に1月1日日日 1日日に1月1日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日日日 1日日 1日 1		 ⑤のう) ● ⑤のう) ● 〔 ● [● [<	ち贈与 5 外国 頃				
1	BR.	-#	平成	222年分	考日常院	* *	34.	円 626.035		円		B
2										Ĩ		
z												
4				ļ								
5												
Б			8									
	h-27+	略名	(8.	人の合計〉	BR - *	ß				j		
日本を受け と人ごとの 自然時間間		⑦ 課税価格 の合計額(①) の合計額)		円 24.625.035 24		円 626, 035		円		E.		
脱れ	自用时 現民価	⑧ 贈与税額 の合計額(1⑤) の合計額)										
5天	/赠与	© ©のうち開		1					1	00		
2835 · 5 (72)		与税利(1)(2)(2) 外国税利性除 額の合計額 (15の合計額)	観に係る	贈 与をした。	液相速入が	くその贈与	シレた年の	つ中途に死	(亡した場)	≩ወ© 潤 ნ	上「相貌時潮	冰 線
888 1 120 2 1	の合計 1 作 2 領 3 領 それ 4 着 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今代初に後の 外田税務連続 額の合計額 (15の合計額) 自該時格算線長 線の金額は、 多人の② 欄の 之に転記しま 会人の③ 欄の 記時特算課状 一(上記1の	題に係るま 出したなう 日本額をす でで額をす でで 初の一 に で 一 一 一 一 一 一 に の に の に の の に の の の の の の	■	該 相違人か) を記入し) 周の金額 つ人の「相創 人の「相創 の(④) 0 bせて記入し	(その関うして、 でくださき) まで、「「「「「「「」」」 (たい) (たい) (たい) (たい) (たい) (たい) (たい) (たい)	シレた年の こ入します 課題分の贈ま 一部時備算制	り 中途に 死 オ 虚の価額 ▶ 段額控除 最続適用 財	(亡した場) (②) 備及((額③) 備 (額③) 備	∲の③欄に ボ第15表の に転記し3	t「相 途時相 のその人の 袋 ミ す。	(算線)構に
	D合計 1 作 2 名 3 名 4 名 村間	今週初(4)を 林四花橋 (15)の合計苑) (15)のの合計苑) (15)の (15)の (15)の (15)の (15)の (15)の (15) (15)の (15)の (15)	現		滅 相続人が 」	(その間ちに またできる) (マくださる) (また) (時時様算) (日月細 (ます。) 相間 (名称)	をした年の こ えします。 親庭分の贈え 鍵時 備算 記 気 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	の中途に死 す虚の価額 を競額控除 見続適用別 所在場	(亡した場) (②) 得及) (③) 得及) (③) 得及) (③) 得及) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③)	余の③ 欄 府 が第15表の に転記し な 転記し 多数	t 「相鍵時補) その人の像 : す。 個物	/算線 > 満に
	0合計 1 作 2 領 3 それ 4 名 下 間 の し の の の の の 合 計	9円期14年 外回税構造除 構の合計積 (15の合計和) 自動時備 算機員 約回応者によ 5人の② 欄の それ起記しま 5人の③ 欄の 二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日	現に係るま 現出に依たまの できます。 設ます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 記書のできます。 このでできます。 このでする。 このでする。 このでできます。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このでででする。 このでででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このでででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このでです。 このででする。 このででする。 このでででする。 このででする。 このででででする。 このでででする。 このでででする。 このでででする。 このででする。 このでででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このででする。 このでででする。 このでででする。 このでででする。 このでででする。 このでででででする。 このでででででででででででする。 このでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	■第4を上た。 録録事のを新 2000 「備額」 第1款のその (1款のその 11款のその 11款の 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	旅信館人力 、	5その贈与 でくだらい に基づきい (基時) 博算 (時) 博算 (時) 博算 (日月細) (主) 一 (相) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日月細) (日日) (日日) (日日) (日日) (日日) (日日) (日日) (日	をした年の 、 えし生す。 親段道用風 銀分の贈る 鍵時補算制 2000 3 等 3 等 3 零 3 零 3 零	0 中途に 死 す 違の 価額 系 競 繊 値 開 新 新 新 本 第 二 日 二 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 の 価 額	(亡した場) (②) 欄及 (③) 欄及 (③) 欄 (③の明細 新等	全の③ 標に が第15表の に転記しま 数量 3 mm ²	t 「相鍵時報)その人の袋 : ナ. (細想	
2 (治) 2 テ 1 1	0合計 1 作品 2 領 3 それ 4 名 本 市 日 約 の の の	今期初14年 林四祝橋廷称 補助の合計和 (15から計称) 自然時候事業長 (15から計称) 自然時候事業長 (15から計称) 自然時候事業長 (15から計称) 自然時候事業長 (15から計称) 高校時候事業長 (15から計称) (15) (15) (15	題に係る数 たたまの 生活 で登 一定 金 第 一定 ま 金 第	関与主した 起始軍のな新 2000 (福額) 第1.妻のその 11.妻の 11.妻 11.妻の 11.妻 11.妻の 11.妻の 11.妻 11.妻の 11.妻の 11.妻の 11.妻	 液相違人が 」を記えし。 通の金額 の人の「相当 の(④) (〕 らせて記入し 利目 特定同族 会社株式 	5 その関う に 2 5 7 2 5 1 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	をした年の N- 記入します。 課題通用系 課題分の贈ま 認知時構算部 認知時構算部 認知時構算部 ころします。 課題 のの問題 のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	 中途に死 す違の価額 ● 税額控除 ● 税額 	(亡した場) (②) 欄及()渡③) 欄 (遼の明細 (遼の明細 (京 5 5 5 5 5 万 (支) (支) (二)	全の③ 得に が第15表の に転記しょ	t 「相談時候 したの人の袋 ミナ。 14.62 10.00	「単 課 計画 に 5.000 1.035
2013日 1 1	0合計 1 # 2 3 4 4 4 末 日 能 の 夏 本 4 4 7 1 日 第 の の 合計 1 の の 合計 1 の の の の う そ 1 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	9 時間 (梁本 州田税網建築 補助の合計額) (13 から計約) 時間の金数時 (第四金数年) (第四金数年) (第四金数年) (14 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	発に係るまで 思したま デ記200 す。 金額を第 「なみ」 で で の の で したま の の の で た の の の の で た の の の で か し したま の の の で た の の で う で 金額を う で 金額を う で 金額を う で 金額を う で こ の の の う で こ の の う で こ の の う で こ の の う で こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の の う つ こ の つ つ こ の つ こ の つ こ の つ こ の つ こ の つ こ の つ こ の つ こ の こ の こ つ こ の こ つ こ つ こ の つ こ の こ つ こ の こ の こ つ こ の こ つ こ の こ つ こ の こ つ こ の こ つ こ ら こ の こ こ ら こ う こ ら こ ら こ こ ら こ ら こ こ ら こ ろ こ ろ こ ろ こ う こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ こ う ろ こ ろ こ ろ ろ こ ろ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ こ ろ こ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ ら こ こ こ こ こ こ ら こ こ こ こ こ こ こ こ こ ら こ こ こ こ こ こ ろ こ こ こ ろ こ こ こ こ ろ こ こ こ こ こ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ こ こ こ ろ こ こ ろ こ こ ろ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	関与なした 4回答明のな研 次の「個類のその (1 家のその 11 開の登号に合 で 1 11 11 11 11 11 11 11 11	 	その関うに てくださす 変野横算 御 の	をした年の 記入します。 読成通用員 認時構算部 認時構算部 (2) 等 (2) 等 (2) 等 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	2 中途に死 す違の価額 ま 税額控除 見税道用助 所広場 (京区00 1 丁目2番 の銀行00	(亡した場) (②) 備及: (③) 備及 (③) 備 (③) 信 (③) 信 (④) 信 (④) 信 (④) 信 (④) 信 (④) 信 (④) 信 (④) 信 (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤) (⑤)	子の② 標 に ボ第15表の に転記しま 多2,000柄	t 「始致時休 りその人の袋 : ナ. 	筆線 5.000 1.035
総額。 東 (注) 2 テ 日 1 1	0合計 1 作 2 G 2 それ 2 それ そ 本 1 日 約 の の の の の 合 計 の の 合 計 の の の の の の の の の	9 時間16年 外国間線距離 補四合計構 (15の合計構) 2 該時備算規 2 該時備算規 2 該時備算規 2 該時備算規 2 該時備算規 2 該時備算規 2 該時備算 2 該 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	贈与をした。 経済事れる許 文の「価類」 第1款のその に款のその に 計定〔1 間の登号に合む ① 一 一 種類 見た 意 見た 意 見た 金 見た 金 見た 金 の の を 第 1 数 で 金 の そ の て の の て の の の の の の の の の の の の の	旅村鉄人か 」 シモスレ 」 シモスレ 月間の会談の フクの「相創 の(2)) 0 日日で記入し 裕日 特定同族 会社株式	(その間を てください に定ください 変野特集第 の日月細 (生す、) 相用 利用 名 作 〇〇両事 定期 通金金	をした年の、 、こします。 課題通用系 経分の関系 登時補運部 医分、 う等 第 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 の中途に死 オ速の価額 ● 段額控除 ● 段額控除 ● 原数通用財 ● 所転端 ⑦ 市底場 ⑦ 市底場 ○ 線行のこ 	(亡した場) (②) 積及() (③) 積の) 積 (違の明細 (※ (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5)	全 の ③ 標 に 3 数 載 2.000株 3.000株	t 「相貌時候 しその人の愛 ジナ。 14.62 10.00	新聞 () () () () () () () () () ()
数額・ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	0合計 1 まま 2 3 4 2 3 4 2 3 4 2 3 4 2 3 4 1 日間税 の の 間 1 日間税 の の 目 の の 目 の の 日 の の の の の の の の の の の	与税制 (4年 林田祝福廷 林田祝福廷 構の合計税 (15から計析) 自然時待 算税 時間の全統 第一次 一(上記1の 年本 一郎	98.出口和 20.2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 5 1 4 1 1 1 1 2 2 5 1 4 1 1 1 1 1 2 2 5 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関与ました。 400季のな新 次3の「個類のその (1.家のその 11財産(11 開の登号に合む 文 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単数 単数	 該相違人が りを記入し ・満つを読 ノン人の「相鍵 かって紹入し かって記入し 秋日 やたで記入し 秋日 	5その間を てくださす まで、だちず まで時様単約 の日月(細 ・ます・) 相 和用料 のの商事 定期商金	をした年の 記入します。 現代設備用 調整時備算部 登時備算部 で 「等 「等 「等 」 「 、 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 ○ 中途に 死 オ 違の価額 ● 数額控除 ● 数額控除 ● 数額控除 ● 数額控除 ● 数額控除 ● 数額控除 ● 0 30 ● 0 30<td>(亡した場) (②) 備及() (③) 備及 () (③) (御及) (③) (御及) (③) (御及) (○) (一) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○</td><td>全 の ② 標 に 数 記 し 3 数 整 2.000税</td><td>t 「相談時休 ひその人の③ : ナ. </td><td>第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一</td>	(亡した場) (②) 備及() (③) 備及 () (③) (御及) (③) (御及) (③) (御及) (○) (一) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○	全 の ② 標 に 数 記 し 3 数 整 2.000税	t 「相談時休 ひその人の③ : ナ. 	第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一





宅地等について課税価格に算入する価額 第11表 " 土地 "、『宅地』のフラグと共に「価額」「取得した人の氏名」欄へ

	ポイン	·		
	1話 米百	小坦塔之地笠のも	活籾来早た〉カレブノださい	
		小戏候七地寺の4	理想留ちを八刀してくたさい。	
		種類No.(H27)	小規模宅地等の種類	
		1	特定居住用宅地等	
		2	特定事業用宅地等	
		3	特定同族会社事業用宅地等	
		4	貸付事業用宅地等	
ļ				
		種類番号により	Ĵ割合を自動表示します。	
		15行入力できる	ますが、足りない場合はWP版等で亻	乍成し、合計を手入力
		してください。		
i L	割合i	画面PAGE:1で初算	期値を表示しています。(手入力可能)
	i	この初期値に基づ	づき、種類番号別に割合を自動表示	します。
L				

《初期值設定》

「課税価格の計算に当たって減額される金額の割合」項目に初期値を設定しています。 手入力で変更が行えます。空欄の場合、 演算 (F7)で初期値を表示します。

			財	務メニュー		ater and dian a	b.	
511·11(1 特例	の2表の 静例の適 Jの対象	「表」 小 用にあたっ となる財商)規模毛料 っての同意 話を取得し	世寺の課校 シた全ての	1価格の計:)人の氏名	异 .明剎青	Ē	PAGE:
NO	氏	名	NO	氏	名	NO	氏	名
				·····	·····			
2 小 課税	い規模宅 通価格の	地等の明刹 計算に当た	H こって減客	貢される金	額の割合			
[1] 特 80	定居住)/ 100	用 [2] 特: 80	定事業用 / 100	[3]特定 80	司族会社用 / 100	[4] 1 5	貸付事業 0 / 100	<u>第</u> 〕
		17	+士 >>>	[(→]		海笛		

[113][114]:第11・11の2表の付表1(別表1)

小規模宅地等についての課税価格の計算明細(別表)を入力します。 一つの宅地についてのみ作成できます。二つ以上の場合はワープロ版等で作成してください。

	射務メニュー (pts/0)	
	第11・11の2表の付表1(別表1) 小規模宅地等の課税価格の計算明細書(別表1) PAGE:1 【1 一の宅地等の所在地、面積及び評価額】	
	塔玉県春日部市〇〇〇 宅地等の面積 165 1 第丁目5番16号 宅地等の面積 165 1 10うち被相続人等の事業の用に供されていた 評価額(円) 1 ①のうち被相続人等の事業の用に供されていた 8 1 ①のうち特定同族会社の事業(貸付事業を除く) 8 1 ①のうち特定同族会社の事業(貸付事業を除く) 9 1 ①のうち特定同族会社の事業(貸付事業の用に供されて 10 1 ①のうち被相続人等の貸付事業の用に供されて 10 1 ①のうち被相続人等の貸付事業の用に供されて 10 1 ①のうち被相続人等の貸付事業の用に供されて 10 1 ①のうち被相続人等の貸付事業の用に供されていた 10 1 ①のうち被相続人等の居住の用に供されていた 10 1 ①のうちあ被相続人等の居住の用に供されていた 10 1 ①のうちぬからEの宅地等に該当しない宅地等 10 1 ①のうちんからEの宅地等に該当しない宅地等 10 1 ② 2 2	
	財務メニュー(pts/0)	
宅地番号と取得 者氏名No.が 一致した場合、 別表の数字 を付表 へ 転記します。	##X_12(p30) ##X_11(p30) ##X_11(p30) #################################	各A~Fの 上段に宅地 番号を入力 してくださ い。
	財X1-1-(pt/0) 第1、11の2表の付表1 小規模宅地等の課税価格の計算明細書 PAGE:2 ※(別表1)より番号と氏名/0 ³¹ 一致する③④を転記する場合は[1]・ 小規模宅地等の種類の番号『1~4』を必ず入力して下さい。 小規模宅地等の種類の番号『1~4』を必ず入力して下さい。 本目 種類 ① 取得者氏名 事業内容 ② 所在地番 ① 面積 1 <	

持分割合に応じて自動計算します。

1		1 2 (- の計算明 相続又! - 一の宅地 (注) 1 (注) 1 2 - (1) 2 - (1)	細書は、特徴 よ適増により →の宅地等 の部分に係る →の宅地等 こは、この計	利の対象として小規模宅地等 一の宅地等を2人以上の相談 は一部が、貸家建行地である とは、一棟の建物又は構築 敷地をいいます。 が、配偶者居住権に基づく素 算明細書によらず、第11・1	石選択する→の宅地 売人又は党通者が取得 気場合において、貸家 勿の敷地をいいます。 物切敷地をいいます。 物地利用権又は配偶者 1の2表の付表1(別	等(31)か、次のいす 争している場合 設建付地の評価額の計構 ただしマンションなど 第居住権の目的となって 表1の2)を使用してく	わかに該当す 章上「賃貸割」 どの区分所有 ている建物の ください。	「る場合に- 合」が「1 建物の場合 散地の用の	 の宅地等ことに作成します (注2)。 」でない場合 には、区分所有された建物 供される宅地等である場合
Bit Working Bit Bit Working Calibre of Mike 300 Image: State of Contract State S	Evel # 1990 PFG 2 10 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	1 () ()	→の宅 →の宅 1) 「①宅 2) 上記2	地等の所在地 地等について 5地等の面積」 2に該当する4	、面積及び評価額 、宅地等の「所在地」、「面積」 欄は、一の宅地等が持分で 鳥合には、⑪欄については、	1及び相続開始の直前 *ある場合には、持分 ②棚の面積を基に自	iにおける宅地等の利用 に応ずる面積を記入し 用地として評価した金	I区分に応じ してください。 該額を記入し、	て「面積」及 , てください	び「評価額」を記入します。 。
価価価価の通知における空地等の利用区分 価価((m) 評価額(円) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● <	(福奈間約の運動における宅地帯の時間区分) (回検 (w)) 評価額 (円) ▲ ①のうち結射目3人等の事業の用に供えれていた宅地帯 ④ ● ● ②かうち結射目3人等の事業の用に供えれていた宅地帯 ● ● ● ③のうち結射目3人等の常事業の用に供えれていた宅地帯 ● ● ● ● ③うちもお目3人等の音響素の用に供えれていた宅地帯 ● ● ● ● ● ③のうち結射目3人等の音作事系の用に供えれていた宅地帯 ● ● ● ● ● ○ ◎ ○ ちもからこのに用いたいてませき、こちとえるられる素々の余地 ● <	宅	地等の所行	王地 3-5-	部市000 16		①宅地*	専の面積		300 🖬
○ つう ちお根詰人 冬の東少の用に供 されていた宅地等 ○ ○ ○ のう ちお根詰人 冬の 変付 事業の用に供 されていた宅地等 ○ ○ ● <td>○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</td> <td></td> <td></td> <td>相關克陽</td> <td>融洽の直前における宅地等の</td> <td>利用区分</td> <td>面積</td> <td>(m)</td> <td></td> <td>評価額(円)</td>	○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			相關克陽	融洽の直前における宅地等の	利用区分	面積	(m)		評価額(円)
■ ● ● 47,400,000 ● <	日 ○のうち特徴期点地の事業(除件事業を始まます)の周に集まれていた宅地帯 ○ 150 ○ 47,400,000 ○のうち特期間人等の賃付事業の周に集まれていた宅地帯 ○	^	①のうき (B、 C)	5被相続人等(及び DIに該当	の事業の用に供されていた宅 釘るものを除きます。)	地等	0		8	
○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○	в	①のうち	禅龍開護会社	の事業「貸什事業を除きます。)の用に供されていた*	EA# 3	150	٩	47,400,000
D ① ○ ① 0 ○	□ ○ ○ ○ □ ○	c	①のうち (神 <i>純</i> 開然	5被相続人等()の睁において	の貸付事業の用に供されてし <mark>推続的に貸付事業</mark> の用に供され	いた宅地等 ていると認められる新分	rasta		0	
E ①のうち茶棚植ん牛等の居住の用に供されていたお地等 ② 150 ② 60,000,000 F ③のうちAからEの定地等に該当しない宅地等 ② ③ ③ 2 - のまけ (ECOApois) E のでのに地等の取得者 Cとに認えします。 ○ ③ ○ ○ ○ 2 - のまけ (ECOApois) E のでのに地等の取得者 Cとの回転及び評価額 (ECOApois) E までの定地等の取得者の相較なは強調したいた地等) ○ ○ ○ ○ 2 - のまけ (ECOApois) E までの定地等の取得者が相較なは強調したいたませ (ECOApois) E までの定地等の取得者になします。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 3 (ECCApois) E ののたりをまでにはんしたっ (ECOApois) E a の活動(ECOApois) E a のたけ (ECOApois) E a StatMH 物)(株をおやり) E a CEOApois) E a StatMH か)(株を約 ADU E a StatMH ADU E a StatHH ADU E a StatH ADU E a StatHH ADU E a StatH	■ ● 150 ● 60,000,000 ■ ● 00 ● 00 ● 2	D	ののうた (のに該	5被相続人等(当する部分以	の貸付事業の用に供されてし 外の部分の敷地)	応宅地等	\$		10	
■ ● ● ● 2 -0.31 等の取得者ごとの面積取び評価額 上記のAからFまでの定地等の面は1及び評価額 上記のAからFまでの定地等の面は1及び評価額 上記のAからFまでの定地等の面は1及び評価額 として満たっの定地等を1人で取得した場合剤は広けた場合剤も容記入します。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	● ● ● ● 2 -0.301 学の取得者ことの意味及び評価額 上記のAPOF までの定時等の 面積 及び 評価節」を、完結等の取得者ごとに記入します。 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (3) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (2) (2) (3) (2) (2) (3) (2) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	Е	(D) のうき	5被相続人等(の居住の用に供されていた常	地等	6	150	Ø	60,000,000
2 - の字は 等の取得者 ごとの面跡及び評価額 上記のから F までの活地等の 面積1 及び「評価額1 を、 等地等の取得者 ごとは記入します。 (1) 「持分給給」 樹は、宅地等の取得者 が目録又は、類増により取得した特分割合 記入します。- の宅地等を1人で取得した場合には、「1/ と記入します。 (2) 「1) 特分に応した宅地等」は、上記の Aから F までに記入した 一の宅地等の 面積1 及び「評価額1 を「持分給合」を用いてあん分し 計算した 面積1 及び「評価額1 を記入します。 (3) 「2 な記の宅地等の方法選択特例が保宅地等1」は、「11 持分に応じた宅地等」に記入した「面積1 及び「評価額1 のうち、特例の対 として選択する部分 名じまれます。 (4) 「3 特別の対象となります。 (5) 「日本(第) ないます。 (6) 「日本(第) 「日本(第) ないます。 (7) 「日本(第) ないます。 (7) 「日本(第) 「日本(*)」」」 (7) 「日本(*)」 (7) 「日本(*)」 (7) 「日本(*)」 (7) 「日本(*)」 (7) 「日本(*)」 (7) 「日本(*)」 <td>2 - の33 学の取得者ごとの部地及び評価額 上記のAPAF までの定地帯の「面は】及び「評価額」を、学地等の取得者ごとに這入します。 (1) 「持分期点」欄は、実地等の取得者が目的又は塗りにより取得した特分割合を記入します。 (1) 「持分期点」欄は、実地等の取得者が目的又は塗りにより取得した特分割合を記入します。 (2) 「1 持分にないた地帯取り 11 自力のAPAFまでに記入した-の宅地等の「面は】及び「評価額」を「持分割合」を用いてあん分して 計算した。「面は」及び「評価額」を記入します。 (3) 「2 たごの宅地等のうち違が特別がな宅地等」は、「1 持分になした宅地等の「面は】及び「評価額」の方ち、特例の対象 として調加する部分配」とします。 (1) 「お付かにないたき地等の「面は」及び「評価額」を記入した」「2 (3) 「2 たごの宅地等の通道が特別がな宅地等」にこれたご地等の面は 間など「容和額」は、「日を書第11・11の2表の付表」」の「 小規誌」は等の明細」の「容和者等の持つになるす宅地等の面は 間及び「容和範」」にすって語る上述等の範疇」間に自己します。 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等」(二)」に、「1 持分に広いた宅地等の「面も」及び「評価額」は、「日を書第11・11の2表の付表」」の「 小規誌」は等の明細」の「容和者等の持つになるす宅地等の面は 間及び「容和範疇」」にするごな溶影物等の動換金を認う に言え、た以外の宅地等について記入します。 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」に、「1 持分に広いた宅地等の「面も」の「2 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」」に、「1 特別にないた理地等」」 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」」に、「1 特分記念」 1 「計算価額」(中) 一部紙(m) 評価額(円) 一部紙(m) 評価額(円) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」 (4) 「1 評価額(円) (1) (4) 評価額(円) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」 (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) (4) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」 (4) 「4) 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (5) 「23,700,000</td> <td>F</td> <td>(D) の) き</td> <td>SAMGEO</td> <td>宅地等に該当しない宅地等</td> <td></td> <td>Ø</td> <td></td> <td>۲</td> <td></td>	2 - の33 学の取得者ごとの部地及び評価額 上記のAPAF までの定地帯の「面は】及び「評価額」を、学地等の取得者ごとに這入します。 (1) 「持分期点」欄は、実地等の取得者が目的又は塗りにより取得した特分割合を記入します。 (1) 「持分期点」欄は、実地等の取得者が目的又は塗りにより取得した特分割合を記入します。 (2) 「1 持分にないた地帯取り 11 自力のAPAFまでに記入した-の宅地等の「面は】及び「評価額」を「持分割合」を用いてあん分して 計算した。「面は」及び「評価額」を記入します。 (3) 「2 たごの宅地等のうち違が特別がな宅地等」は、「1 持分になした宅地等の「面は】及び「評価額」の方ち、特例の対象 として調加する部分配」とします。 (1) 「お付かにないたき地等の「面は」及び「評価額」を記入した」「2 (3) 「2 たごの宅地等の通道が特別がな宅地等」にこれたご地等の面は 間など「容和額」は、「日を書第11・11の2表の付表」」の「 小規誌」は等の明細」の「容和者等の持つになるす宅地等の面は 間及び「容和範」」にすって語る上述等の範疇」間に自己します。 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等」(二)」に、「1 持分に広いた宅地等の「面も」及び「評価額」は、「日を書第11・11の2表の付表」」の「 小規誌」は等の明細」の「容和者等の持つになるす宅地等の面は 間及び「容和範疇」」にするごな溶影物等の動換金を認う に言え、た以外の宅地等について記入します。 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」に、「1 持分に広いた宅地等の「面も」の「2 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」」に、「1 特別にないた理地等」」 (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」」に、「1 特分記念」 1 「計算価額」(中) 一部紙(m) 評価額(円) 一部紙(m) 評価額(円) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」」 (4) 「1 評価額(円) (1) (4) 評価額(円) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」 (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) (4) (4) 「3 特別の対象とならない宅地等(-1)」 (4) 「4) 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (4) 「1 評価額(円) (4) 「1 ご (5) 「23,700,000	F	(D) の) き	SAMGEO	宅地等に該当しない宅地等		Ø		۲	
1 1 11 <td< th=""><th>1 11 <t< th=""><th>0</th><th>案用+D [2 小規模: 4) [3</th><th>地等」として 左記の宅地等 宅地等の明細 特別の対象」</th><th>「選択する部分の「面積」及は 存のうち選択特例対象宅地等 Ⅰ」の「③取得者の特分に応う とならない宅地等(1-2)」</th><th>地等の場合は、上殿 び「評価額」をそれ。 約 に記入した宅地等 ずる宅地等の面積」構 には、「1 持分に</th><th>こ「特定同族会社事業」 それ記入します。 の「面積」及び「評価 間及び「②取得者の持分 」応じた宅地等」のうま</th><th>用宅地等」と 額」は、「申 みに応ずる宅」 5 「2 左記。</th><th>:して)選択す 告書第11・ 地等の価額 の宅地等の</th><th>11002表の付表1」の「2 」間の2表の付表1」の「2 」欄に載記します。 うち選択特例対象字地等!#</th></t<></th></td<>	1 11 <t< th=""><th>0</th><th>案用+D [2 小規模: 4) [3</th><th>地等」として 左記の宅地等 宅地等の明細 特別の対象」</th><th>「選択する部分の「面積」及は 存のうち選択特例対象宅地等 Ⅰ」の「③取得者の特分に応う とならない宅地等(1-2)」</th><th>地等の場合は、上殿 び「評価額」をそれ。 約 に記入した宅地等 ずる宅地等の面積」構 には、「1 持分に</th><th>こ「特定同族会社事業」 それ記入します。 の「面積」及び「評価 間及び「②取得者の持分 」応じた宅地等」のうま</th><th>用宅地等」と 額」は、「申 みに応ずる宅」 5 「2 左記。</th><th>:して)選択す 告書第11・ 地等の価額 の宅地等の</th><th>11002表の付表1」の「2 」間の2表の付表1」の「2 」欄に載記します。 うち選択特例対象字地等!#</th></t<>	0	案用+D [2 小規模: 4) [3	地等」として 左記の宅地等 宅地等の明細 特別の対象」	「選択する部分の「面積」及は 存のうち選択特例対象宅地等 Ⅰ」の「③取得者の特分に応う とならない宅地等(1-2)」	地等の場合は、上殿 び「評価額」をそれ。 約 に記入した宅地等 ずる宅地等の面積」構 には、「1 持分に	こ「特定同族会社事業」 それ記入します。 の「面積」及び「評価 間及び「②取得者の持分 」応じた宅地等」のうま	用宅地等」と 額」は、「申 みに応ずる宅」 5 「2 左記。	:して)選択す 告書第11・ 地等の価額 の宅地等の	11002表の付表1」の「2 」間の2表の付表1」の「2 」欄に載記します。 うち選択特例対象字地等!#
A ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ B ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ D ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ E ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ F ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ 1 持分に応じた宅>地等 2 左記の宅地等のうち遊説 特例の対象をならない宅地等(1	A ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ B ··○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ D ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ E ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ F ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ 1 14分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例が換定地等 3 14例の対換とならない宅地等 (1-2 1 14分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例が換定地等 3 14例の対換とならない宅地等 (1-2 面検 (m) 評価額 (円) 面検 (m) 評価額 (円) 面検 (m) 評価額 (円) A ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ B ··○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ D ○·○ ○·○ ○·○ ○·○	1) 142	 黒田も 「2 小規模: 4) 「3 に記入 地等の取得 1 14/ 	 地等」として 左記の宅地等 5地等の明細 特例の対象 た以外の宅 諸氏名 	○選択する部分の「面検」及i 等のうち選択特別対象宅地考 」の「②取得者の持分に応 とならない宅地考(1-2)」 地等について記入します。 ■脱 花子 ●	地等の場合は、上段1 び「評価額」をそれ。 ジ」に記入した宅地等 ずる宅地等の面積」 ポーロは、「1 持分に この棚に記入した「面 の持分割合	こ「特定同族会社事業 それ記入します。 の「面積」及び「評価 朝及び「2取得者の持者 応じた宅地等」のうち 減」及び「評価額」に <u>1 / 2</u>	用宅地等」と 額」は、「申 計応する宅は 5「2 左記り ま、申告書第1	: して)選択す (告書第11・ 地等の価額 の宅地等の (1表に挿記) 	加加3 000 5、15月00000 「る部分の、下段に「貸付事 」間に転回します。 うち選択特例対象宅地等」様 します。
B	B 0.00 23,700,000 75 23,700,000 C 0.00 0.00 75 23,700,000 D 0.00 0.00 75 30,000,000 F 0.00 0.00 0.00 0.00 Stution (rd) Female (rd) Female (rd) Female (rd) 1 1490:rb(rb:b:30:## 2 female (rd) Female (rd) A 0.00 0.00 75 23,700,000 A 0.00 0.00 0.00 0.00 B 0.00 0.00 0.00 0.00 75.00 23,700,000 0.00 0.00 0.00 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0.00 0.00 0.00 </td <td>() 南</td> <td> 第月中日 「2 小規模: 4)「3 に記入 地等の取得 1 持行 面積 </td> <td>地等」として 左記の宅地等 5地等の明細 特別の対象) った以外の宅 構氏名 に応じた宅 度(ttř)</td> <td>3週沢する部分の「面検」及は 等のうち選択特例以後空地等 いの「②取代者の持分におい とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 ■税 花子 地等 評価額(円)</td> <td>地等の場合は、上段 の「評価額」をそれ。 ジ「評価額」とそれ。 ジ」に記入した宅地等の面積」 ました。「1 持分に この欄に記入した「面 の 掛分割合 2 左記の宅地等 面積(m)</td> <td>こ [特 定同族会社事業 それ記入します。 *の「面積】及び [評価 朝及び [②取得者の持分 応じた宅地等] のうち 読」及び [評価額] に 1 / 2 *のうち選択特別対象名 評価額 (円)</td> <td>用宅地等」と 額」は、「申 りになずる宅」 5「2 左記」 5」2 左記 5、申告書第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</td> <td>:して)選択す 告書第11・ 地等の価額 の宅地等の 1表に転記 時側の対象 積(mt)</td> <td>1102名の代表100「貸付事 1102名の代表100「2 1欄に転記します。 うち選択特例対象宅地等1#します。 とならない宅地等(1-2) 評価額(円)</td>	() 南	 第月中日 「2 小規模: 4)「3 に記入 地等の取得 1 持行 面積 	地等」として 左記の宅地等 5地等の明細 特別の対象) った以外の宅 構氏名 に応じた宅 度(ttř)	3週沢する部分の「面検」及は 等のうち選択特例以後空地等 いの「②取代者の持分におい とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 ■税 花子 地等 評価額(円)	地等の場合は、上段 の「評価額」をそれ。 ジ「評価額」とそれ。 ジ」に記入した宅地等の面積」 ました。「1 持分に この欄に記入した「面 の 掛分割合 2 左記の宅地等 面積(m)	こ [特 定同族会社事業 それ記入します。 *の「面積】及び [評価 朝及び [②取得者の持分 応じた宅地等] のうち 読」及び [評価額] に 1 / 2 *のうち選択特別対象名 評価額 (円)	用宅地等」と 額」は、「申 りになずる宅」 5「2 左記」 5」2 左記 5、申告書第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	:して)選択す 告書第11・ 地等の価額 の宅地等の 1表に転記 時側の対象 積(mt)	1102名の代表100「貸付事 1102名の代表100「2 1欄に転記します。 うち選択特例対象宅地等1#します。 とならない宅地等(1-2) 評価額(円)
C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ E ○·○ ○·○ 30,000,000 75 30,000,000 75 F ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ St>地等の取得着氏名 画純 一般 ●持分割給 1 / 2 ○·○ ○·○ ○·○ 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 特例の対象とならない宅地等 (1 - : ○·○ 面積 (㎡) 評価額 (円) 面積 (㎡) 評価額 (円) A ○·○ ○·○ ○·○ 75 23,700,000 B ○·○ ○·○ ○·○ 75 23,700,000 C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ ○·○	c ○·○	ن) 1944 م	 第月1日 [2] 小規模: 4) [3] 1(記入) 地等の取得 1 持行 面積 ○×○ 	地等」として 左記の宅地等 5地等の明細 特別の対象。 した以外の宅 諸氏名 (に応じた宅 変(m)	③服する部分の「面純」及: 等のうち逼択待例は後2地等 1)の「③取得者の持分に応 とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 国税 花子 地等 評価額(円) ◎~◎	地等の場合は、上段 の「評価額」をそれ 行「評価額」とそれ 行した宅地等 する宅地等の面積計 には、「1 持分に この欄に記入した面 の指分割合 2 左記の宅地等 面積(世)	こ [特 定同族会社事業 それ記入します。 の「面積】及び「評価 間及び「②取得者の持分 応じた宅地等」のうち 議」及び「評価額」に <u>1 / 2</u> のうち選択特例対象宅 評価額(円)	用宅地等」と 額」は、「申 らに応ずる宅」 5、「2 左記」 5、「2 左記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」 5、「2 三記」	: して)選択す (告書第11- 地等の価額 の宅地等の (1表に筆記 	加加3 00 5 円 1900 5 (1 日本) 「お部分の、下数に「貸付事 110 2 表の付表 1」の「2 」 欄に転記します。 うち選択特例対象容地等」 # します。
□ ○	□ ○	(4 Разва А В	第月日 「2 小規模: 4)「3 に記入 地等の取作 1 持分 面前 ○×○ ○×○	地等」として 左記の宅地等 日地等の明題 にた以外の宅 増氏名 に応じた宅 変(m7) 75.00	 · 選択する部分の「面純」及i · (高秋時間)換急地構 · の「る秋時者の持分に応 とならない宅地等(1-2)」 · 地等 · こついて記入します。 · 国税 花子 ·・ ·・ ·・	地等の場合は、上段10 「評価額」をそれ ににした宅地等 する宅地等の面積1 相 には、「1 持分に この欄に記入した店面 の掛分割合 2 左記の宅地等 面積(m7) 75	こ [特 定同族会社事業 それ記入します。 の「面積1 及び [評価 簡及び [②取得者の持分 応じた宅地等] のうき 議] 及び [評価額] に 1 / 2 のうち遠銀特例対換宅 評価額 (円) 23,700,	用宅地等」と 割」は、「申 計に応ずる宅 5「2」左記。 た、申告書第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	 して)選択す 告書第11・ 地等の価額 小宅地等の価額 い宅地等の 11表しす記 一一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一 二 二	加加3 00 5 円分からない 「ち部分の」下数に「貸付事 110 2表の付表 1」の「2 」間に転記します。 うち選択特例対象宅地等」 ます。
E 75.00 30,000,000 75 30,000,000 F *** <td>E 75.00 30,000,000 75 30,000,000 F *** 30,000,000 75 30,000,000 *** *** *** *** *** *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** A *** *** *** *** *** *** *** A *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** B *** *** *** *** *** *** *** *** *** C *** *** *** *** *** *** *** *** B *** *** *** *** *** *** *** 0 *** *** *** *** *** *** 0 *** *** *</td> <td>(/ ф А В С</td> <td>##HEJ [2 小規模: 4) [3 に記入 世等の取行 1 持分 回 ○×○ ○×○ ○×○</td> <td>b等」として 左記の32時 対地等の掲載 特別の対象。 た以外の宅 増氏名 に応じた宅 れて応じた宅 れてのじた宅 れてのした宅 れてのした宅 なてのの 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td> <td> · 選択する部分の「面純」及: · 商(る歌な) · 「る歌な) · 「「る歌な) · 「ないないな) · 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない</td> <td>地等の場合は、上段) で「評価額」をそれ に記入した宅地等 する宅地等の面積1 相 分に この欄に記入した「面 の相に記入した「面 の相に記入した「面 を記の宅地等 面積(世)</td> <td>こ 特 定同族会社事業 それ記入します。 の「面 純」及び [評価 開及び [浮取得者 の持分 応 じた宅地等」のうち 減」及び [評価額] に 1 / 2 のうち選択特例対象で 評価額(円) 23,700,1</td> <td>用宅地等」と 額」は、「申 分に応ずる宅 た記 た記 た 地等 3 朴 一 面 - - - - - - - - - - - - -</td> <td> して)避死す 1:告書第11・ 地等の価値 の宅地等の 1:表に非認っていた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>100000 下段に「貸付事 11002表の付表1」の「2 」欄に車匠します。 1個に車匠します。 うち選択特例対象宅地等」# します。 とならない宅地等(1 - 2) 評価額(円)</td>	E 75.00 30,000,000 75 30,000,000 F *** 30,000,000 75 30,000,000 *** *** *** *** *** *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 *** A *** *** *** *** *** *** *** A *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** B *** *** *** *** *** *** *** *** *** C *** *** *** *** *** *** *** *** B *** *** *** *** *** *** *** 0 *** *** *** *** *** *** 0 *** *** *	(/ ф А В С	##HEJ [2 小規模: 4) [3 に記入 世等の取行 1 持分 回 ○×○ ○×○ ○×○	b等」として 左記の32時 対地等の掲載 特別の対象。 た以外の宅 増氏名 に応じた宅 れて応じた宅 れてのじた宅 れてのした宅 れてのした宅 なてのの 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 · 選択する部分の「面純」及: · 商(る歌な) · 「る歌な) · 「「る歌な) · 「ないないな) · 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	地等の場合は、上段) で「評価額」をそれ に記入した宅地等 する宅地等の面積1 相 分に この欄に記入した「面 の相に記入した「面 の相に記入した「面 を記の宅地等 面積(世)	こ 特 定同族会社事業 それ記入します。 の「面 純」及び [評価 開及び [浮取得者 の持分 応 じた宅地等」のうち 減」及び [評価額] に 1 / 2 のうち選択特例対象で 評価額(円) 23,700,1	用宅地等」と 額」は、「申 分に応ずる宅 た記 た記 た 地等 3 朴 一 面 - - - - - - - - - - - - -	 して)避死す 1:告書第11・ 地等の価値 の宅地等の 1:表に非認っていた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100000 下段に「貸付事 11002表の付表1」の「2 」欄に車匠します。 1個に車匠します。 うち選択特例対象宅地等」# します。 とならない宅地等(1 - 2) 評価額(円)
お地等の取得者氏名 画税 一館 物持分割合 1 / 2 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 特例の対象とならない宅地等(1-) 面検 (wf) 評価額(円) 面検 (wf) 評価額(円) 面検 (wf) A ○○○ ○○○ □ □ □ B ○○○ ○○○ 75 23,700,000 □ □ C ○○○ ○□○ ○□○ ○□○ ○□○ □ □	B B B C 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち遠浜特例決換宅地等 3 特例の決換とならない宅地等 (1 - 2 1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち遠浜特例決換宅地等 3 特例の決換とならない宅地等 (1 - 2 面積 (m) 評価額 (円) 面積 (m) 評価額 (円) 面積 (m) 評価額 (円) A ○·○ ○·○ 75 23,700,000 23,700,000 C ○·○ ○·○ ○·○ ○·○ □ D ○·○ ○·○ ○·○ □ □		第HEB [2 小規模:: 4) [3 に記入 地等の取行 1) 持分 面 ○×○ ○×○ ○×○ ○×○	地等」として 左記の33地 対地等の構築 特別の対象、 た以外の2 増氏名 に応じた名 を(w7) 75.00	 · 選択する部分の「面検」及i · 商(教長者の持分)に応 · 国税(者)に応 · 国税(者)に応 · 国税(花子) · 国税(花子) · 回 · 回 · 回 · 回	地等の場合は、上段 び、評価額) をそれ ジ 「評価額) をそれ ジ に記入した宅地等 づる宅地等の面積1 梢 分に この欄に記入した「面 の 御持分割合 2 左記の宅地等 面積(m) 75	こ [特定同族会社事業。 それ記入します。 の「面 検払 及び [評価 樹及び [浮取得者 の持分 応じた宅地等」のうち 減」及び [評価額] に 1 / 2 のうち選択特例対象等 評価額(円) 23,700,1	用宅地等」と 額」は、「申 約に応ずる宅 5「2 だ記 た、申告書第 地等 3 和 面 0000	 して)選択す (告書第11・ 地等の価額 の宅地等の 「1表」に載量 (時間) (時間) (時間) (時間) 	
I 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特例対象宅地等 3 特例の対象とならない宅地等(1-1) 面積(m) 評価額(円) 面積(m) 評価額(円) 面積(m) 評価額(円) A ○・○ ○・○ □ □ □ B ○・○ 23,700,000 - - - - C ○・○ 23,700,000 - - - - -	1 持分に応じた宅地等 2 左記の宅地等のうち選択特別対象宅地等 3 特例の対象とならない宅地等 (1-2 面積 (w7) 評価額 (円) 面積 (w7) 評価額 (円) 面積 (w7) 評価額 (円) A ◇ベ◇ ○×◇ □ □ B ○×◇ ○×◇ □ □ 75.00 23,700,000 □ □ C ◇ベ◇ ○×◇ □ □ D ○×◇ ○×◇ □ □		#H+BJ [2 小規模: 小規模: 1 持分 ●×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○	地等」として 左記の32時 対地等の構築 特別の対象 着氏名 【に応じた宅 和 てた。 てた。 での その での での での での での での での での での で	 · 選択する部分の「面検」及i Fのうち選択特例以後つ地等)の「容取代者の持分に応 とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 · つ · の · の · の	地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ら」に記入した宅地等 する宅地等の面積1 相 持分に この欄に記入した「面 の相ら記入した「面 の相ら記入した「面 の相ら記入した「面 の する宅地等の面積 (m) 1 75	 「特定同族会社事業」 それ記入します。 のの面積」及び「評価額の」の「おいた宅地等」のうち 旅じた宅地等」のうち (水)及び「評価額」は 1 / 2 このうち選択特例対象 評価額(円) 23,700,1 30,000,1 	用宅地等」と 額」は、「申 約に応ずる宅 5「2 左記 た、申告書第 地等 3 和 面 0000	 して)選択 3 1 告書第11 - 地等の価額 の宅地等の 11表に自己 	加速すのりた。「予約のが3% 「ち部分の」、下数に「貸付事 11の2表の付表1」の「2 」欄に確認します。 うち選択特別時後を地等」# します。
面後 (wf) 評価額 (円) 面検 (wf) 評価額 (円) 面検 (wf) 評価額 (円) A ◇ · ◇ ◇ · ◇	面検 (m) 評価額 (円) 面検 (m) 評価額 (円) 面検 (m) 評価額 (円) A ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ □ <td< td=""><td></td><td>#.H-B 「2 小規模: 小規模: に記入 で や 等の取 (1 持 ()) ()) ()) ()) ()) ()) ())) ())) ())) ())) ())) ()))) ()))))) ())))) ()))))))))))))</td><td>b等」として 左記の学時 対時の明細 特別の対象 着氏名 (m7) 75.00 75.00</td><td> · 通訳する部分の「面純」及: · 第のうち違訳特例以換之地等 · の「る歌水(考古の持分にな) とならない宅地等(1-2)」 · 1・2)」 · 1・2) · 1 · 1 · 1</td><td>地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ビ」に記入した宅地等 する宅地等の面接」相 ・ 日には、「1 持分に この欄に記入した「面 の持分割合 2 左記の宅地等 面積(㎡) 1 75 の 75 の 行 の 行 の 行 の 行 の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の 割 の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の の で の で の で の の で の で の つ の で の で の で の の の で の の の の の の つ で の つ で う の の で の つ の の で の の つ の で の つ の で の で つ の つ の つ の つ の つ の つ つ の つ の で つ つ た の つ の で つ つ の る つ の の の つ つ つ つ の つ の の つ の つ の つ つ の つ の の つ の つ つ つ つ の つ つ の つ の つ の の つ つ つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ</td><td> 「特定同族会社事業、 それ記入します。 の「西 純」及び「評価 備及び「評価 晴」なび「評価 晴」は 1 / 2 のうち 遠沢特別対集等 評価 篩(円) 23,700,1 30,000,1 1 / 2 </td><td>開宅地等」と 額」は、「申 約二応する名 5 「2 左記 大・申告書第 地帯 面 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td> して)避沢る 告書第11・ 地等の価額の定地等の価額の定地等の 小車・ 清例の対象 清例の対象 (xī) </td><td></td></td<>		#.H-B 「2 小規模: 小規模: に記入 で や 等の取 (1 持 ()) ()) ()) ()) ()) ()) ())) ())) ())) ())) ())) ()))) ()))))) ())))) ()))))))))))))	b等」として 左記の学時 対時の明細 特別の対象 着氏名 (m7) 75.00 75.00	 · 通訳する部分の「面純」及: · 第のうち違訳特例以換之地等 · の「る歌水(考古の持分にな) とならない宅地等(1-2)」 · 1・2)」 · 1・2) · 1 · 1 · 1	地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ビ」に記入した宅地等 する宅地等の面接」相 ・ 日には、「1 持分に この欄に記入した「面 の持分割合 2 左記の宅地等 面積(㎡) 1 75 の 75 の 行 の 行 の 行 の 行 の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の 割 の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の の で の で の で の の で の で の つ の で の で の で の の の で の の の の の の つ で の つ で う の の で の つ の の で の の つ の で の つ の で の で つ の つ の つ の つ の つ の つ つ の つ の で つ つ た の つ の で つ つ の る つ の の の つ つ つ つ の つ の の つ の つ の つ つ の つ の の つ の つ つ つ つ の つ つ の つ の つ の の つ つ つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 「特定同族会社事業、 それ記入します。 の「西 純」及び「評価 備及び「評価 晴」なび「評価 晴」は 1 / 2 のうち 遠沢特別対集等 評価 篩(円) 23,700,1 30,000,1 1 / 2 	開宅地等」と 額」は、「申 約二応する名 5 「2 左記 大・申告書第 地帯 面 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 して)避沢る 告書第11・ 地等の価額の定地等の価額の定地等の 小車・ 清例の対象 清例の対象 (xī) 	
A O O B O O 75.00 23,700,000 C O O O	A O O O B O O 75 23,700,000 C O O O D O O O		★H+E3 [2 小規模: 4)[3] に記込 他等の取行 1)持分 ③×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○	b等」として 左記の学校 対時の明細 特別の対象 増氏名 [に応じた宅 年(m7) 75.00 野者氏名 [別に応じた宅 第 (m7)	 · 通照する部分の「面純」及: · 商の、「面純」及: · 「る取得者の持分にない とならない宅地等(1-2)」 · 地等について記入します。 · 一 · 一の · 一の	地等の場合は、上段 の 評価額) をそれ 注 「評価額) をそれ 注 「記入した宅地等 する宅地等の面積1 相 持分に この欄に記入した「面 の 4 の 持分割合 2 左記の宅地等 面積(他) 75 の 持分割合 2 左記の宅地等 1 75 の 持分割合 2 左記の宅地等 1 75 の 月 の 月 の 月 の 月 の 日 の 月 の 月 の 月 の 月 の 日 の 月 の 月 の 日 に れ 月 の 一 に れ り ち 「記 へ した宅地等 の 面積1 相 持 の に 記入した「面 随 月 相 月 分 に 記入した「面 節 月 一 の 一 初 月 分 記 つ の 一 記 入 した「面 面 し れ 月 今 に 記入した「面 で の 個 に 記入した「面 で の 個 に 記入した「面 で の 個 し 記 の に 記入した「面 で り う の 一 こ こ し た「面 で の 一 の 日 う し た 「面 で し の 一 の 日 う し た 「面 で の 一 の 日 う つ に 記 入 した「面 で の の の つ で し た 「面 で の の の 日 の こ つ こ し た 「面 で の の の つ の つ の つ し の こ の し の こ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ 一 の 日 の の つ の つ し の つ の つ の つ つ の つ し つ つ つ の つ つ つ の つ の つ つ の う し つ つ つ つ つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 「特定同族会社事業、 それ記入します。 の「面積」及び「評価 期及び「浮取待者の持ち 応じた宅地等」のうち 減」及び「評価額」に 1 / 2 のうち選択特別対象で 23,700,1 30,000,1 1 / 2 のうち選択特別対象で 	開学地等 と	して)避沢る (告書第11・ 地等の価額 の宅地等の 1まに車益 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
Image: system of the	B 0 75 23,700,000 C 0 0 0 D 0 0 0		#H+B [2 小規模: 4 [3] 1 信記入 也等の取作 ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○	b等」として 左記の宅地等 31世等の明細 特別の対象 特別の対象 第首氏名 [に応じた宅 和 てち、00 75、00	 · 選択する部分の「面純」及: · 商は、及: · 「る歌な月者の持ちにない · 」の「る歌な月者の持ちにない とならない (学)地等(1-2)」 · !!地等について記入します。 · · · 一部 · · ·	地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ジ「評価額」をそれ ジーに記入した宅地等 する宅地等の面積1 梢 分に この欄に記入した「面 の 御持分割合 2 左記の宅地等 面積(m) 75 の 特分割合 2 左記の宅地等 面積(m)	 「特定同族会社事業、 それ記入します。 の「面積」及び「評価 御及び「浮取待者の持ち 応じた宅地等」のうち 違人及び「評価額」に 1 / 2 のうち違択特例対象で 評価額(円) 23,700,1 30,000,1 1 / 2 のうち遠泯特例対象で 評価額(円) 	用宅地等」と	 して)避沢る 1 告書第11・ 地等の価額の定地にする 一一の一方例の対象 (昭7) 一一の一方例の対象 「前例の対象 「前例の対象 「前例の対象 「「「」」」」 	
			#H+B 「2 小規模: 4 「3 1 持ろ 1 持ろ 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0 0×	b等」として 左記の32時 対地等の利期 特別の対象 着氏名 [に応じた宅 和 75.00 75.00	 · 通訳する部分の「面純」及i · (○教代者)(新知道(年2)) · (○教代者)(新見)(二) · (○教代者)(新見)(二) · (○本) · (○本)	地等の場合は、上段 の 評価額) をそれ ら」に記入した宅地等 する宅地等の面積1 梢 分に この間に記入した「面 の の 行動の間に記入した「面 の で の で の で の で の で の で し た に し た に 加 ち の で の で し た に 地 等 の で の で 地 等 の で の で 地 等 の で の で し た 「 加 低 」 の で の で し た で 加 等 の で の で し た 「 加 の し た 「 加 の し た 「 加 の し た 、 加 ら 、 「 れ う ら た 「 面 ん し た 「 の つ で う し う た 「 の つ の う し た 「 の つ つ で う し っ で う し っ つ て う う う の つ つ で う し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 「特定同族会社事業」 それ記入します。 のの面検払及び「評価額の」なび「評価額」に 知及び「評価額」に 1 / 2 のうち選択特例対象率 評価額(円) 30,000,1 1 / 2 のうち選択特例対象率 	用宅地等」と 額」は、「申 約」応ずる宅 5、「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「空 5 「 5 「	 して)避沢 3 1 告書第11 - 地等の価額 の宅地等の 11表に自己 寺例の対象 接(昭) 1 表して、 1 また、 <l< td=""><td>main (円)</td></l<>	main (円)
			#H+B 「2 小規模 4 「3 1 持子 面 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0 0×0	b等」として 左記の学時 対時の明期 特別の対象 着氏名 [に応じた彩 を (m7) 75.00 75.00 学者氏名 [の)に応じた彩 凌 (m7) 75.00	 選択する部分の「面純」及i 等のうち選択制限対象2地構 りの「容取代者の対分にな とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 副税 花子 地等 評価額(円) ○○○ ②○○ ②○○ ③○○ ③○○ ③○○ ③○○ ○○○ ○□○ ○○○ 	地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ビ」に記入した宅地等 する宅地等の面積1 相 持分に この欄に記入した「面 の相ら記入した「面 の相ら記入した「面 の相ら記入した「面 の する宅地等 面積(他) 75 の 行 の 行 の 行 の 行 の で の で の で の で の で した 「 の で の で した 「 の で の で した で した 「 の で の で した で した で した で した で した で した で した で した で した で した で した で した で した で した で 面 枝 一 相 、 (れ う の で した で 面 枝 一 て 、 (れ う の 個 に 記入した 下 面 で した 「 面 で の で した で 面 枝 (他) つ で の で し た 「 面 く に つ で し た で 面 く に つ で し た 「 面 く で の つ で し た 「 面 で 、 で の つ で し た 「 面 で 、 で う の で 、 で う の で の で し た 「 面 で 、 で う の で つ で し た 「 の で つ で う し た 「 の で つ で う し た 「 の つ で う し た つ の つ で う し た つ で う で う つ で う の で つ つ で つ で う で う で つ で し つ つ で う で つ で う つ で し つ た い つ つ つ で う つ で う つ つ で し つ つ つ で う つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 「特定同族会社事業」 それ記入します。 のの面積」及び「評価備」なび「評価備」は 加び「冷取得者の持分」 応じた宅地等」のうち (中価備」に 1 / 2 のうち (円) 23,700,1 30,000,1 1 / 2 のうち (円) 30,000,1 1 / 2 のうち (円) 23,700,1 23,700,1 	用空地等」と 額」は、「申 約」になずる宅 5、「早 左記 5、「早 左記 5、「日 5 「日 5 「 5 「	 して)選択 3 1 1 5 5 5 5 7 <li7< li=""> 7 7 7 7</li7<>	Line 2 (円) Line 2 (円)
			★H+E3 [2 小規模: 小規模: 0 に記込 (b等」として な記の学校 対時の明細 特別の対象 着氏名 [に応じた宅 を(m7) 75.00 学者氏名 [分 に応じた宅 な(m7) 75.00	 選択する部分の「面純」及: 等のうち選択部防損な2地等 いの「忍取代者の持分にな とならない宅地等(1-2)」 地等について記入します。 副税 花子 地等 評価額(円) ○○○ 23,700,000 ○○○ ○○○ 30,000,000 ○○○ ○○○ ○○○ 23,700,000 ○○○ 	地等の場合は、上段 び「評価額」をそれ ビ」に記入した宅地等 でした、「1 持分に には、「1 持分に この欄に記入した「面 の持分割合 2 左記の宅地等 面積(㎡)	 「特定同族会社事業、 それ記入します。 の「面積」及び「評価備」は 規及び「評価備」は 1 / 2 のうち選択特例対象で 評価額(円) 23,700,1 30,000,1 1 / 2 のうち選択特例対象で 評価額(円) 30,000,1 23,700,1 	用宅地等」と	 して)避沢る 1告書第11・ 地等の価額の宅地等の11表に車詰記 小の価値の 小の価値の 小の価値の 特別の対象 後(uT) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			#H-BJ [2] 小規模: 4 [3] に記む の*の の*の の*の の*の の*の の*の の*の の*の の*の の*	b等」として 左記の写地 お出等の明細 特別の対象 特別に応じた宅 和 (m) 75.00 75.00 第着氏名 [(m) 75.00 75.00	 選択する部分の「面純」及: 第の 「数次者の持ち」 第の 「数次者の持ち」 第の 「数次者の持ち」 第の 「数次者の持ち」 23,700,000 ○ ○ 23,700,000 ○ ○ ② ○ ③ ② ○ ③ ③ ○ ③ ③ ○ ③ ○ ③ ○ ③ ○	地等の場合は、上段 の 「評価額」をそれ 「三記入した宅地等 する宅地等の面積1 排 分に この欄に記入した「面 の の 個に記入した「面 で の で の で の で した、「1 持分に この で の 個に記入した「面 で の で の で した、「1 持分に この 間に記入した「面 で の で の で した、「1 持分に この 間に記入した「面 で の で した、「1 持分に この 間に記入した「面 で の で した、「1 持分に この 間に記入した「面 で の で した、「1 新分に この で した、「面 板」 (本) の で の で した、「面 板」 (本) の で の で した、「面 で した、「面 で した、「面 で した、「面 した、「面 で し た、「面 で した、「面 で した、「面 で し た、「面 で し た、「面 で し た、「面 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 「特定同族会社事業、 ぞれ記入します。 の「面積」及び「評価 類及び「浮取待者の持ち 応じた宅地等」のうち 減」及び「評価額」に 1 / 2 のうち違択特例対象で 評価額(円) 23,700,1 1 / 2 のうち違択特例対象で 評価額(円) 23,700,1 23,700,1 	用宅地等」と	 して)避沢 3 1 告書第11・ 地等の価額の定地等の11表に車話2 一一一一 一一 一一 一一 一一 一一 	

〔121〕~〔126〕: 第12表



第12表はひとメニューにつき農業相続人1人分の入力となっています。(計3人分の1人2枚出力)複数の農業相続人がいる場合は、メニューを分けて入力してください。
1人分〔121]:第12表-1(1)・〔122]:第12表-1(2)
2人分〔123]:第12表-2(1)・〔124]:第12表-2(2)
3人分〔125]:第12表-3(1)・〔126]:第12表-3(2)
第11表から転記を行う場合「11表より転記する場合は1」に「1」を入力し、「農業相続人」に該当するを入力してください。
第11表の「田」「畑」のデータを転記します。
転記後「11表より転記する場合は1」のフラグをクリアします。

〔131〕~〔134〕:第13表

			負担す 当する 動表示 韓式費月	る人(目続人 します 	の氏名 、 を <i>入</i> 細書	、力す 入力す 	ること 可能) *****	により	
負担する人の氏名 ――――		1 (主 梁) (1) 日日	<u>≤m</u> /この兼	は、被相魏人	の農務につい	て、その明	損と養祖する人	の氏名及び金数を	記入します。
「1.債務の明細」の " 負担する		1 1頁 7分 02 四	和四 \なお.	時期 若年者(がし和魏人が	文払う禅別	并与 拜について	も、これに聞いて	: 北入します。/
人の氏名 " は相続人登録で			*	0	89 #	14年4月日	N. 1994	使用すること	「「「「「「「」」」 この 「「」」 この 「「」」 この 「」 「」 「」 「」 「」 」 この 「」 「」 「」 「」 「」 」 」 この 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 」 」 」 」
"相结故奋"を選択している提	1	國 扬 目	民名文は名称	住所文	は所在地	并证券展	全额	Ø E 45	¥2 10
	-221	国家高量税				3.1.1	345,90	回税 一郎	345,900
古、八月できません。	21	に公開、3年度分 固定高速税	文章都祝事發行			3-1-1	250,80	回租税 一郎	250,800
		[公開 3年度分 固定高度税	00时改播			ə- 1- 1	4,80	国税一郎	4,800
	公司	1公課 3年度分析得税 課題進	补日系统涂着			3- 5-10	\$10,80	国税一郎	310,800
	公1	1公課 3年度分 住氏税	补日报付到开			a. 1. 1	510,70	回税 一郎	510,700
	公1	1公報 起動借入れ	00%行 00支店	参目都市OC DT目D番0	0 9	24- 4-15	22,633,34	回租税 一郎	22,633,340
	1	숨 카					24,056,34	a	
	Í	2 葬式費用	の明細	この要は	、液和洗人の鼻	時に戻した	E費用について.	その明掃と黄祖の	る人の氏名及
	-	.85	× #	いを取てれ	A683.	194	18	登却まることが	(金) た際式新田
		×	私	先	Star M D M		15	養祖する人	産担する
	0	E 名文は名称	住所文は	所在地	文和 年月日	2	39. E	0 E 4	2 X
		0.97 0.87 A 20-4		8	3. 5.14		1,500,000	国税 花子	1,500,000
		09992- 0 2 7		9	3- 5-14		150,600	国税 花子	150,600
				9	3. 5.14		100,900	国税 花子	100,900
唐政わじた 通郷した しの氏々			**日新市00 01日日春0	9	3. 5.14		20,300	国税 花子	20,300
		〇莽儀社	参目都市00 01日0番0	9	জন ত 3 - 5 - 14		1,500,000	国税 花子	1,500,000
明細欄に入力のある相続人を相	T T	の他	別孫のとおり		5. 6		87,800	国税 花子	87,800
続 の若い順に表示します。		e #			/		3,359,600		
確定していない債務 ・葬式費		3 信務及び葬せ	は費用の全計	額					-
用がある場合は、相続人登録	-		0.5. × 14		国籍 花本	围锁			
	*	あなどを承知した人 養祖することが	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	人の合計り	国1元 16丁	用机	94	B	円
	*	し た 激 発祖することが	後 単準 の	24, 058, 340			24.068.340		
人を相続人 の右い順に表示し	*	していない	₩ 35 ¹⁰			-			
ます。		料 (①+(2)) 登録まることが	129	24.058,340			24. 958, 349		
	泰	した第末集	F 用 ¹²⁰	3, 369, 900	3, 369,	800			
	*	していない葬式	▲ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			_			
	用	# (@+®)	e	3, 369, 809	3, 369,	. 909			
	3	合 와 (①+	(®) Ø	27, 415, 949	3, 369.	.009	24. 958. 349		
	C	生) L 各人の図標 この、回及び0	の金額を第1素 2個の金額を第	いその人の は表の感、S)「資金及び第 ●反び電信にそ	式費用の9 れぞれ級統	2版(③) 柄に料約 (します。	2します.	
		3	<u>自動</u> 債務計	<u>运記</u>	→ 第 [↑]	15表	33		

合計

第1表

負担する人の氏名

ポイント

負担する相続人 を入力することにより相続人登録より自動表示します。 「1.債務の明細」の負担する人の氏名は、相続人登録で"相続放棄"を選択して いる場合、相続人 をクリアします。

債務などを承継した人の氏名

明細欄の「負担する人の氏名」に入力のある相続人を相続人 の若い順に表示し ます。負担することが確定していない債務 または負担することが確定していな い葬式費用 がある場合、相続人登録の"未分割割合"に入力のある相続人を相 続人 の若い順に表示します。

・ 負担することが確定した債務・葬式費用
 明細欄の負担する金額を相続人ごとに集計して表示します。

・ 負担することが確定していない債務・葬式費用
 ・ 各人の合計(債務または葬式費用の合計 - または の合計)を相続人登録の"未分割割合"で按分して計算します。(円未満切り捨て)
 上段手入力優先項目です。
 手入力を行う場合は、上段に<u>『全員手入力』</u>してください。
 各人の ・ 合計= ・ (各人の合計)となるように調整してください。

[141][142]:第14表





〔151〕〔152〕:第15表

第11表において「種類 」及び「細目 」に入力がないと、第15表の集計が正しく行われま せんのでご注意ください。





〔160〕~〔165〕:修正 第1表

第1表の金額を(イ)修正前課税価格へ転記することができます。

(イ)修正前課税額

第1表より転記する場合は「1」を入力します。 演算 (F7) キーを押して転記を実行します。 転記後、「1」のフラグはクリアします。 転記後、「1」のフラグはクリアします。 転記後、「1」のフラグはクリアします。

1	亡
	2 行
	第1表から転記の場合
	3行のうち2行しか転記
	しません。
	転記後、必要に応じて
	手直ししてください。

王 後、後 生 ((((() () () () () () () (人	名 赤人番号 ヨ 目 一 席 そ) 作 元 日 の 音 子 う う 方 新 新 四 一 号 う の の の の の の の の の の の の の	昭元 20年 埼玉県和 (新当する東	国税太郎 10月 19日 年日部市 0003丁目 作成表示	(₩) 75 (#) 5 番16号 \$(\$) \$700	国税花 123 557 27 4 〒 345-000 ※15%村开 10号 1 73 麦	子 4 5 6 7 8 9月 21日 1985501日6番 - 3333 - たよし	(***) 9 0 1 2 (*** 68 #) 5555)
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	人 参 等 又 仿 说 早 5 夏 游 香 道统人 1 7年 8 整 理 医 医 (茶 群 慶 6 (茶)(秋)(3)	名 余人姿 争 3 目 所 争) 限 廃 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	昭 和 20年 坊玉県駅 (新当する東	国祝太郎 10月 19日 年日部市 0003丁目 での商 代表家	(###) 75 (#) 5 番16号 \$(#) \$*@	国祝 化 1 2 3 昭和 27 年 〒 344-0000 参目都市平電 19号 (53 妻	子 4 5 6 7 8 9月 21日 - 3333 - たよし	参考 <u>9012</u> (年前 68 年) <u>7555</u>
· 一般 · 一 · 一》 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	人参 号文 は 袋 早 月 乾 終 参 80読人 「 の洗濯 「 「 「 「 「 「 「 「 「 、 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、	会人都多 引 目 所 多う で で の の の の の の の の の の の の の の の の の	昭和 20年 埼玉県新 (が当する来	10月 19日 年日部市 DOO 3 丁目 で未取 作品版をつい	(###) 75 (#) 5番16号 \$(#) \$(#)	123 123 123 123 123 123 123 123	45678 9月21日 - 3333 - たよし	9012 (**** 68 #)
生 生 ((() () () () () () () ()	年 5 電話 か 御続人 1 が続初 第 電 型 医 (幕群 歴 6 (第11歳(5))	3 目 所 争) 作 死 気 因 参 多 分 分	1897n 20年 埼玉県 (旅当する東	10月 19日 条日部市 DOO 3丁目 でまま 株式田 2008	(¥##) 75 歳) 5番16号 \$K090	88770 27 ¥ 〒 344-0000 参目新市平県 10号 【 03 妻	9月21日 - 3333 - なし	(##) 68 #) 5555)
住(株社)といい 原際のの一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般	 収録金 3歳人 7件 3 3 7 3 2 2 2 2 3 3 4 5 6 6 6 7 6 7 6 7 <li7< li=""> 8 7 7 7<</li7<>	所 争) 作 発 新 分 の研究」	埼玉県和 ((() () () () () () () () () () () ()	条日部市 DOO3丁目 での際 代表取 番月日をつつ	5番16号 \$109) \$700	〒 344-0000 参日都市不開 10号 (03 妻	1985年37日8番 - 3333 - なし	0000)
	 収録金 33年人 75年月 77年月 <l< td=""><td>争) 作 光 気 四 参 争 分</td><td>「「「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「</td><td>DOO3丁目 00歳 代表取 得意回を回す</td><td>5番16号 \$1090</td><td>99] (72) 妻</td><td>- 3333 -</td><td>0000)</td></l<>	争) 作 光 気 四 参 争 分	「「「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「	DOO3丁目 00歳 代表取 得意回を回す	5番16号 \$1090	9 9] (72) 妻	- 3333 -	0000)
	83続人 の統招 第 8 整 型 E (第 55 度 6 (第 15 度 6	11世 元 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11	* * * * * * *	00歳 代表取 篠原因を07	事 (执) 排役	妻	tol	
	祥 8 整理 医 (蒋虹度 0 (第11,秋(3)	18 日 参 参 分 の 簡 第1	*************************************	保原因をロっ	214.0	CALCULAR ST		
	整 元 王 (孫 新 左 a (第(1余回)	∰ क कि			2回おます。	(11)	• 相緒畔積算鋼術	(C#3#4
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	医 (存い) 度の (第1(表(3))	分 7 新 新 新						
	(孫の夜の) (第1(赤〇)	の簡響し	Ø		0 0 0	0		8 0 0
	林吟 時間運行 將行於		498, 392, 161	P	円	258, 848, 369	B	P9
	「第11の2去」	100	24. 626. 035					
Pf +	憲法(の第三書) (第13歳302	明の金額。	27, 415, 949			3, 359, 809		
o la	資産価数(①・ (東宇のとき)	+@-@) ±0)	496, 802, 248			253, 288, 750		
94 III	Lau Gina		3,000,000			1.000.000		
扉 卻	祝福格[6]	0+0) 0HT10	496, 800, 500	000	-456, 800, 000	254 288 000		-254 288 000
* *	龍相鏡人の	家辰田 /	NE 10	UL JO	(N	左の悪には.	第2条の②祭の①	の人家及び〇
		1212HW 53	48,000,000	,000,000	. 000, 000	の思想を加入	025.	19 3 I + + +
	18 88 0	18 19 D	130, 606, 000			2100001212. S	次の124例の125段で	86人します。
	敗の場合	0 0	1-00-1	1-00	R	9.6L	B	19
図 の 一	Notice and in the second	() ()	130,606,000	12.	12	\$8, 557, 559		
外 第一世	11-21-12-P-0	0 0	m	III	m	m		
1	0 2 2 4 2	0	H H	H	E C	н	. a	H
	28.4 8 12	0 0	90,000					-
8	配備者の税3 【第5 衆囚、	又は②) @	96, 252, 509			86, 252, 699	-	
各 数	未成年者	在除数 自						
~	降 音 者 者 (第9表2(2),(3	2 除数 6						
Rf 把	相次相続 【第7册①3	控除数 使	425.000			217,204		
Frt pe	外围税数 (第8表	控除数 ④						
	84	ø	86, 797, 600			66, 489, 704		
M O	0.0	0000	84, 737, 600			1.087.840		
1	A R R R	0000	AT ALCO ALC					
10 B	療法人持分祝3 「気をのす#	2 F)						[
の 小	8+ (@ - 2	8-21 0	B4, 737, 400		۵	1.087.800		
前用	1 2 3 T	8 X 0	NTO 1010 TWV		5	0.0000000		
		限までにの				1912220200		
1	119230 mitty	1.3898 68	64, 737, 499	Ň		L.067,800	Ň.	-
CAL C	- marie	and the second second						
1941		10 10 10 10						

[96]~[98]:連動計算 1.2.3

全て終了後、〔96〕 〔97〕 〔98〕の順に必ず連動計算を行ってください。

【操作の流れ】(P.3~4)に沿って入力を行うと自動計算や各表間の転記がスムーズに 行えます。

ただし、入力順によって転記が正しく行われない場合があります。

転記もれや未計算を防ぐため、入力やデータの訂正・追加を行った場合は必ず連動計算を 実行してください。





基本操作は(転記版)相続税申告書に準じます。 データの転記・集計機能はありません。

概 要

- このプログラムは、相続税申告書について必要なデータを画面上で入力し、A4白紙及び OCR用紙(第1表、第11・11の2表の付表1、第15表)にプリントするものです。
 (データの転記・集計機能はありません。)
 - 1)作成できる表は下記の全21表です。< >内は、出力可能枚数です。

[530] ワープ	口版相続税申告書A
第1表(続を含む)<8>	第7表<3>
第2表<1>	第8表<1>
第3表<2>	第9表<3>
第4表<4>	第10表 < 3 >
第4表の付表 < 4 >	第13表 < 4 >
第4表の2<5>	第14表 < 5 >
第5表<1>	第15表(続を含む) < 8 >
第6表<2>	修正申告書第1表 (続を含む) < 8 >
[540] ワープ	口版相続税申告書 B
第11表 < 15 >	
第12表 < 6 >	
第11表の2表<2>	
第11・11の2表付表1(続を含め	5) < 4 >
第11・11の2表付表1(別表1)	< 8 >

- 2) 画面表示は用紙の図柄どおりに設計してあります。
- 3)入力可能最大桁数は各表によって違います。また、入力した金額の桁数が多くなります と、枠内に収まるように自動的にカンマ抜きで表示しプリントします。
- 2.1ユーザコードで、各表15人の相続人に対応できます。
- プリントは、A4白紙に全21表を出力します。カラープリンターをご使用の場合は、 枠などを茶色で出力することができます。

各表の入力の特徴

< 全表 >

計算及び転記機能はありません。小計・合計項目も入力を行ってください。 「100円未満切り捨て」のチェックはありませんので、金額入力についてはご注意ください。

[530:ワープロ版相続税申告書A]

< 1: 被相続人の登録 >

** \	VP版	相続税申告書 **					PAGE:1
«	被相關	続人の登録 》					
-	春日部	【 税務署長		_年	2月 3	日提出	
			相続開	開始年	月日	<u> 令和 _年_5月1</u>	1日
被	住所	埼玉県春日部市 ○○○ 3丁目 5番 1	6号		生年 月日	昭和 _年10月1	<u>9</u> Ħ
続	<u> </u>	⊐टेर`र प्राप्रे			年齢	_ <u>75</u> 歲	
	氏 名	国税太郎		職 業	00	商事株式会社 代表取締役	

< 2・3:相続人の登録 >

1 ← 相続・・・1 遺贈・・・2	取得原因	1 コクセッイ ハナコ	相続人No. フリガナ
← 贈与無・・・0 有・・・1		国税 花子	氏 名
← なし・・・0 あり・・・1	参考記載	昭和27年 9月21日 (68歳)	生年月日
		T344-xxxx 埼玉県春日部市○○○ 3丁目5番16号	住 所
		XXXX - XXXX - XXXX	電話番号
		妻	続 柄
		なし	職業
		1 ← 被相続人の配偶者は1	配偶者

第1表の被相続人及び作成税理士欄の 入力を行います。 (修正申告書第1表の被相続人欄も共通)

ここで入力した被相続人の氏名を、 各表右上部の"被相続人"にプリント します。

第1表の「財産を取得した人」のフリガナ から取得原因まで入力します。

取得原因は、第1表プリント時に相続か 遺贈か、相続時精算課税に係る贈与の有無に のもます。

< 11・12:第1表 >

第1表 相続税の申	日告書			< :	人目>	PAG	E
Article 1 10 1	※演算いりキーを押す	と作	統人登録	ゆと	氏名を転詞	じます。	
相続人NU I	/ _//i →	砚	未成年	14			
氏 名 国務	1 花子	額	障害者	15			
取得価額	256,646,350	控し	相次	16		217,204	
精算価額 2		除し	外国税	17			
債務葬式 3	3,359,600		計	18		35,469,704	
純資産 4	253,286,750	羞!	1 税 額	19		1,087,846	
贈与財産 5	1,000,000	精算	控除額	20	Δ		
課税価格 6	254,286,000	医療	法人控除	21			
基礎控除 B		小	計	22		1,087,800	
総額7		納税	随子税額	23			
- あん分 8	0.51	納(寸税 額	24		1,087,800	
般 算出額 9/	66,557,550	還亻	寸税 額	25	ΛΔ		
算出税額 10							
加算税額 11 /							
控 贈与税 12							
除 配偶者 13	65,252,500						

相続人氏名は 相続人の登録 から転記 します。

入力時に 演算 (F7)キーを押してください。

[540:ワープロ版相続税申告書B]

< 1~15、30:第11表 >

財	勝火二:		dev/p	ots/2)													
	第11	表	2	相続利	見がかか	る財	産の明	細書								PAG	E:5
1				ļ	ł	産		の	明	月		細					32.
									利用	区分							
	NO	М		種	類		細	目	銘	柄	等	Ē	近右	主場	所	等	
	32	Λ	NO			NO	(小計	-)									
	22	7	NO	((≇+))	NO											
	00		NO	((817	/	NO						春	日部	市〇	$\overline{0}$)	
	34	/		現金科	<u></u> 前 宇 金 等	$\overline{\nearrow}$			現金			31	目5	番1	7号		
		ļ	け	尼	É	の	明	j	細			分	割)「確)	定し	た財産	ž
	数	(重	単		価					取得	した	Χ.		取得則	「産の
	固治	主資	産	平価	倍		数	価		額		の!	£	名		価	額
									6,902	,700	NO						
											NO						
								-	11,362	,840							
				-					450	,000	NU	国税	花	子			450,000
1	頁選	択	業	務選		₫掛	(消日	終了	7 1665	編集	7	演 算			9,	专切替	

< 111:第11・11の2表の付表1 >

<入力>

号	種類	0	D取得	者氏名	事業内容	(2) F	所在地番	③ 面積
/	1	NO	国税	花子		春日部 0000	(市)3丁目5番16号	m ² 82.5
/	1	NO	国税	一郎		同上		82.5
/	4	NU	国税	花子	貸家	年日部 〇〇〇〇	市 3丁目5番17号	150
	④ 宅地	地等の	D価額	⑤面積	⑥小規模宅地額	割合	⑦減額金額	⑧ 算入価額
	33	2,17	5,000	m [*] 82.5	32,175,000		25,740,000	6,435,0
	33	2,17	5,000	82.5	32,175,000		25,740,000	6,435,0
	46	6,21	5,000	100	30,809,999		15,404,999	30,810,0

< プリント >



(小計)、((計))、 合計 も入力が必要です。

金額に()は付けられません。 プリント後、手書きしてください。

種類 小規模宅地等の種類番号を入力して ください。

種類No.(H27)	小規模宅地等の種類
1	特定居住用宅地等
2	特定事業用宅地等
3	特定同族会社事業用宅地等
4	貸付事業用宅地等

<u>割合</u> 画面PAGE:1で初期値を表示しています。 (手入力可能) この初期値に基づき、種類番号別に

割合を自動表示します。

各表の網掛表示の内容

網掛表示は別画面・別項目にて入力した内容を表示します。 データの計算機能はありませんのでご注意ください。

[530]ワープロ版相続税A

12:第1表-2 PAGE:1



11:第1表-1 PAGE:1で入力した内容を 表示します。

70:第7表 PAGE:1

前の相続に修	系る被相範	责人氏名	前回と今[重の	被相続人の続	柄前]回の申告書提出先 税務署
 前の相続 毎 	<u>年月日</u>	2 今回	の相続年月	п Ш	 今回の相総 	規間	 ④ 10年-③の年数 年
 前の相続の 得した純資 	時に取	。 前の相約 相続人の	売の際の被 の相続税額	0	(5 — 6)	6) 今回の相続で財産 を取得した人の純 資産額の合計額
⑥の相続税	<u>円</u> 額		円		④の年数	円 :	円 相次相続控除額の 総額
		< <u>8</u>		円円	× <u>10年</u>	Ø) H

70:第7表 PAGE:3~4

 第7表相次相続。 2.各相続人の。 (1)一般の場合。 	控除額の計算書 相次相続控除額 ☆ (2ページ0	骨 角の計算 つつづき)		PAGE:3
相続人の氏	名 ⑨相》	《相続控除額総額	① 純資産価額	
	(A	の金額)		
		円		
D #	資産価額合計	額 (2) <u>各人の(1)</u> 額 (2) <u>各人の(1)</u>	- 0 相次相続控制	余額
Œ	•	4		
		₽		



第7表 相次相続控除額の計算書 2. 各相続人の相次相続控除額の計算 (2) 相続人のうちに農業相続人がいる場合 (5ページのつづき)	PAGE:6
相続人の氏名 (1)相次相続控除額総額(1) 純資産価額	
(為の金額)	
19 純資産価額合計額 (7) 各人の19 日次相続控除額 日次相続控除額	
©	
	切替

同画面の で入力した内容を表示します。

PAGE:2で入力した内容を表示します。

PAGE:5で入力した内容を表示します。

90:第9表 PAGE:5~6

第9表 生命保険金など	の明細書		I	PAGE:5
2 課税される金額の計算				
受取相続人名	①受取金額	②非課税金額	③課税金額	
				-
合計				8
22,2240 002220,22	★ ※■ 级 マ			**
貝選抓 医未務選 智	环间围轮门	圓小礦桒∎供昇	1 2000	<u>al l</u>
∩∩·笋1∩実		~ 8		
	TAUL . I	0		-
扬メニュー(/dev/pts/2) 物10字 、日晩毛いにへまい				DACE
2 課税される金額の計算				rnuc.r
退職手当金など	I see the set of the set of the set			
* 111 12 114 2 41	 (1) 受け取った 1日時毛水へ 	② 非課税金額	(3) 	
を受け取った相続人の氏名	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の((A) × (B) 	③ 課税金額 (① - ②)	ίų.
を受け取った相続人の氏名	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の() 〇 × 0 	3 〕 課税金額 (① - ②)	ų
を受け取った相 続人の氏名	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	2) 非課税金額 <u>各人の(</u> (A) × (B)	3) 課税金額 (①-②)	Sair Carlo
を受け取った相続人の氏名	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	② 非課税金額 <u>各人の(</u> <u>A</u> × <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u>	3) 課税金額 (①-②)	ų,
 	(1) 受け取った 退職手当金 などの金額	 ② 非課税金額 各人の() ④ × (8) 	3〕 課税金額 (① - ②)	ę
を受け取った相 続人の氏名	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の() ④ × ⑤ 	③ 課税金額 (①-②)	gr
を受け取った相 続人の氏名 	 (1) 受け取った 退職手当会 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の() (A) × (B) 	③ 課税金額 (①-②)	gr
·を受け取った相 	 (1) 受け取った 道職手当金 などの金額 	② 非課税金額 <u>各人の()</u> (A) × (B)	③ 〕 課税金額 (① - ②)	
を受け取った相 続人の氏名 合計	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の① ④ × ⑥ ○ 	3) 2) 課税金額 (① - ②)	ę
を受け取った相 続人の氏名 合 計	 (1)受け取った 退職手当金 退職手当金 などの金額 	 ② 非課税金額 各人の() ④ × ⑥ ○ 	3) 2 課税金額 (① - ②)	ę
を受け取った 続人の氏名 合計	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 	 (2) 非課税金額 (2) 非課税金額 (2) 全人の(2) (2) 公式 (3) 公式 (4) 公式 (5) 公式 (3) 2) 課税金額 (① - 2)	ę
を受け取った相 続人の氏名 合計 百選択 (産 熟者) 19	 (1) 受け取った 退職手当金 などの金額 技 酒賃 & マ 	 (2) 非課税金額 (2) 非課税金額 (2) 本 (3) 本 (4) 本 (5) 本 (5) 本 (5) 本 (7) 本<td>3 2 課税金額 (① - ②)</td><td></td>	3 2 課税金額 (① - ②)	
を受け取った相 続人の氏名 合計 <u> 育選択</u> [要 業務選]	(1) 受け取った 退職手当会 などの金額 抹 消遣 終 了	(2) 非課税金額 <u>各人の(</u> <u>(2)</u> × <u>(2)</u> (2) × <u>(2)</u> (3) × (2) (3) × (2) (4) × (2) (5) ×	3 2 課税金額 (① - ②)	we
を受け取った相 続人の氏者 	(1) 受け取った 退職手当会 などの金額 <u>抹 消遣終了</u> 3売2~~	(2) 非課税金額 各人の(2) (2) × (2) (2) × (2) (2) × (2) (2) × (2) (3) × (2) (3) × (2) (4) × (2) (5) × (2)	2 3 菜 税 金 額 (① - ②) (① - ③) (① - ③) (① - ③) (① - ③)	
を受け取った相 続人の氏者	(1) 受け取らた 週間手当金 などの金額 <u>抹 消遣終了</u> 3表2~4	② 非課税金額 <u>各人の③</u> ② × ③	2 3 葉 税 金 額 (① - ②)	
を受け取った相 続人の氏名	(1) 受け取った 退職手当金 などの金額 抹 消遣 終 了 3表2~4	② 非課税金額	2	



PAGE:6で入力した内容を表示します。

PAGE:4で入力した内容を表示します。

131:第13表-1 PAGE:3で入力した内容を 表示します。

132~134:第13表2~4 PAGE:6



131:第13表-1 PAGE:6で入力した内容を 表示します。

132~134:第13表2~4 PAGE:7~10

3.	債務及び	拉韓	費用の合計額			
1月3 し;	除などを埋 た人の氏名	i ana	(各人の合計)			
債	負担する 債 務	m	円	鬥	円	円
務	負担しな い債務	2				
-	計 ①+②	3				
羿式	夏担9 つ 費 用	(4)				
費用	負担しな い費用	5				
	計 ④+⑤	6				
	合計 (③+⑥)	Ø				

131:第13表-1 PAGE:7~10で入力した内容を 表示します。

141:第14表-1 PAGE:7

合計

■頁選択 | 2 葉 消 | 3 終 了 | 3 行編集 | 3 演 算 | 3 表切替 |



- 56 -

152:第15表-2 PAGE:1



[540] ワープロ版相続税 B 30:第11表-30 PAGE:2~3



122・124・126:第12表-2・4・6 PAGE:7



114:第11・11の2表の付表1(別表1)-2 PAGE:1



151:第15表-1 PAGE:1で入力した内容を 表示します。

30:第11表-30 PAGE:1で入力した内容を 表示します。

- ・122:第12表-2 121:第12表-1 PAGE:7で入力した内容を 表示します。
- ・124:第12表-4
 123:第12表-3 PAGE:7で入力した内容を
 表示します。
- ・126:第12表-6
 125:第12表-5 PAGE:7で入力した内容を
 表示します。

113:第11・11の2表の付表1(別表1) PAGE:1で 入力した内容を表示します。

官製用紙の対応は令和3年3月31日をもって終了しています。

プリントの操作方法

- ・OCRについては官製用紙又は白紙A4コピー用紙へ出力します。また、非OCRは全て 白紙A4コピー用紙に印刷します。
- ・平成28年以降のプログラムでは、第1表及び修正申告書第1表の印刷前に、『個人・法人番号 入力』の画面を表示しますので、個人・法人番号印刷が必要な場合は番号を入力してください。
 (詳しい内容については次頁参照)

白紙印刷と官製用紙印刷では	表指定番号が違いますのでご注意ください。
MBXC=(ps/n) O+UKQBH RHMRQHPBTEA	 1)「2」プリントを選択します。 2) プリントを行う用紙を選択します。 用紙番号 Enter を押します。 ・ 複数の表をプリントする場合は、続けて表番号を選択します。 ・ 全表プリントする場合は 全指定 (F3)を 押します。 ・ 選択を変更する場合は、再度表番号を入力 します。白黒反転を解除します。 ・ 選択内容を全て解除する場合は 指定クリア (F2)を押します。 3) 用紙の指定が終了したら 空 Enter を 押します。 4) 指定した用紙について、データが入っていない 表をプリントをするかしないかを指定します。 プリントする場合 … 1 Enter プリントする場合 … 2 Enter 当プログラムは全表に被相続人名が入りますので、 この指定は無効です。 5) 印刷枚数を指定します。
11世メニョ(44+)#477 令和 年以降用 相続税申告書A ユーザコード・・・ 1002 年 度 ・・令和 ユーザ名 ・・・・ 国税大郎	 6)用紙の種類を指定します。 連帳の場合 … 1 Enter 単表の場合 … 2 Enter 画面で表示する場合 … 3 Enter ページプリンタでの出力は単表ですが、連帳の指定を 行うと続けてプリントできます。 7)"エンターキーで印字開始します。"の対話を 表示します。 プリントする場合 … Enter 中止する場合 … 終了 (F5)

平成28年以降のプログラム 第1表及び修正申告書第1表の個人・法人番号印刷について

相続税申告書の[2.プリント]で第1表、修正申告書第1表を指定した場合、印刷前に『個人・法人 番号入力』画面を表示します。

個人・法人番号を申告書へプリントする場合は、各人の番号入力を行ってから、 (終了)(F5)を 押してください。

No 氏 1 国税 2 国税 3 税務 4	名	番 12345 22345 33345	号 6789012 6789012 6789012	N 8 9 10 11 12 13 14 15			名		号
※個人・法人 ³ ※個人・法人 ³	番号を必す 番号は保存	確認して されませ	とくたさい まん。プロ	い。 コグラ	ム終	了時にク	[,] リアしま	です。	P10

終了(F5)時に、個人・法人番号とし て妥当な番号かどうかを自動チェックし (チェックデジット機能本人の番号かどうか のチェックではありません)、妥当でない番号 の場合は下記のエラーメッセージを表示 しますので、番号確認・訂正を行ってく ださい。

1 1 国税 花子
マイナンバー 123456789012 は正しくありません

番号の自動チェックをせずに画面を閉じたい場合は、 [終了](F5)ではなく、「非チェック](F9)を押してください。

入力した個人・法人番号をプリントします。、

2	春日部 報金	清泉			54 N.I
÷	年499	1 日 神社	和我國務年月日中加 年 3月10日	※学会期限延晨目 早 月	Ħ
2	计未进计过,这个是人	(71220)		「虹査を取得した人 戀	意識なる
	フリカ	1 +	(被相魏人) 3945年949	38t 1 M3	茶藤 会
	£	4	国税太郎	国税 花子	参考
	御人香冬丈は(洗人香 冬		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1	1 2
f	金华。	月日	naama 20 a≓ 10.9 19 ≊ (a≠aa) 75 a≋)	nanno 274≓ 9,a 21∎ (4+ani 68	(梁)
	佳 [20 15 赤	BF A J	埼玉県春日部市	〒344-5888 春日部市不動院野8丁目5番 18号	

プログラム終了と同時に、入力した個人・法人番号はクリアとなります。(データ保存しません)

ページプリンタの用紙セット方法 ~手差し~(NPPシリーズ)



官製用紙を"テサシ"にセットします。

官製用紙は、プリントする面を下にし、手差し 給紙口へ用紙上部から差し込みます。(用紙ガイド はA4サイズにし、用紙左右を固定します。)



NPP845 操作パネル



操作パネルを以下の手順で操作します。

|印刷可 | を1回押し、「印刷可」のランプを消します。

(NPP845で印刷可のランプが消えている場合は 節電解除 を押してから印刷可の ランプを消します。)

[シフト]を押しながら [手差し]を数回押し、液晶パネルを [テサシA4タテ]の 状態にします (NPP845では 「手差し]のみを押します。)

|印刷方向|を数回押し「ポート」の状態にします。

液晶パネルが「テサシA4タテポート」になりましたら 印刷可 を押し、印刷可の ランプをつけセット完了です。

官製用紙に印字をする前に、白紙のコピー用紙にテストプリントします。 打ち出し後、官製用紙と重ねてズレていないかを確認してから官製用紙へ打ち出すことを お勧めします。 表面を印刷した用紙は、1分ほど時間をおいてから裏面を印刷することをお勧めします。 熱を持ったまま印刷をすると、紙詰まりする確率が高いのでご注意ください。

ページプリンタのオフセット補正プログラムの操作(印字位置調整)

ページプリンタにて出力作業を行う場合、用紙の裁断等により印字がずれる場合があります。 印字がずれた場合のみ「オフセット補正」を行います。(部分的な補正は行えません。) 指定プログラムごとにオフセット補正プログラムがあります。印字位置の調整が必要な場合は オフセットの指定を<u>1...再調整して印刷</u>を選択してください。

オフセットの指定を<u>1、再調整して印刷</u>を選択してください。 (プリンタが複数台ある場合はプリンタごとに設定が必要です。また、プログラムが変わった 際にも設定が必要です。)

印字がずれたら、以下の手順で作業を行ってください。 調整は1表ずつ指定して行います。 用紙を複数選択した場合、オフセットは表示しません。



プリントオフセット補正値を設定してプリントを行っても、用紙のセット位置や給紙装置の 状態等により、印字がズレる場合がありますのでご了承ください。



相続税申告書入力上の注意点

相続人登録 - 未分割割合について



未分割割合を入力しないと第7表をはじめ計 算しない表があります。

未分割財産がない場合でも、<u>法定相続分と</u> <u>同様の割合</u>を『<u>未分割割合</u>』に入力してくだ さい。

第1表



第3表



<u>あん分割合</u>は空欄の場合、「2・3相続人登録」より 転記します。

<u>再度、</u>「2・3相続人登録より転記」する場合は、 <u>抹消</u> (F4)を押し、割合を消してから 演算 (F7)を押してください。

算出額等は各人「<u>円未満切り捨て</u>」で計算 します。

切上げにする場合は、算出額の欄に「1」を 入力し金額を手入力してください。

第11の2表の金額がある場合は、還付税額の欄に「1」を入力し金額を手入力してください。

<u>あん分割合</u>は空欄の場合、「2・3相続人登録」より 転記します。 再度、「2・3相続人登録より転記」する場合は、

<u>4度、223名歳</u>八豆蘇より転記」9336日は、 <u>抹消</u>(F4)を押し、割合を消してから 演算 (F7)を押してください。

- 算出税等は各人「<u>円未満切り捨て</u>」で計算 します。 切上げにする場合は、算出額の欄に「1」を

入力し金額を手入力してください。

第5表 配偶者の税額軽減額の計算書	PAGE:1
1. 一般の場合	
[課税価格の合計額 (第1表のA) (配偶者相続分) イ※ のうち配偶者の	× Ħ
法定相続分相当額 <u>499,700,000円 × 2 = 249,850,000円</u> 24	9,850,000 /
	<u> </u>
新程限額を 力割別産 (2) 頃霧反い (3) 不力割別 (4) 2) (3) 計算する場 の価額 葬式費用 産の価額 の余額	
合の課税額 256,646,350 3,359,600 450,000 2,90	9,600
⑤純資産に加算され ⑥	*D- 4 +9
る贈与財産価額	
1,000,000	254.736.000
	「切替」

第7表



生命保険金などの明細書 第9表 PAGE:4 2 課税される金額の計算 <u>-</u> 法定相続 A Ħ んの人数 (500万円×<u>5人</u>により計算した金額)・・・・・ 保険金の非 25,000,000 課税限度額 ①受取金額 ②非課税金額 受取相続人名 ③課税金額 14,798,043 29,831,440 甲野 一郎 44,629,483 10.201.960 30.768.125 20,566,169 乙山 幸子 75,397,608 24,999,999 50,397,609 計 合 夏選択夏業務選 表切替

非課税金額は「<u>円未満切り捨て</u>」 で計算 します。 切り上げの場合は、上段に金額を入力して ください。

各項目の上段にカーソルが止まります。 上段に入力した金額を優先して計算プリント

します。

第11表



価額欄は上下二段入力できますが上段は 代償財産を入力する欄です。

代償財産以外は下段に金額を入力します。

代償財産の場合は上段に金額を入力します。上段に金額を入力した場合は未分割財産の計算に含まれません。

他(代價財產)	代價財產	現金		-20, 000, 000 20, 000, 000	国税 →郎	20, 000, 000
					国税花子	-20, 000, 000

< 1つの財産を複数人で分割した場合の入力方法 >

土地	山林				290,530,000	甲野花子	174,318,000
						健太	58,106,000
						茉莉	58,106,000
1			l	1			

<入力画面>

財務メニ



1つの財産を複数人で分割する場合は、 27日以降の『種類No』及び『細目No』を 必ず入力してください。 入力しないと各人の分割財産の価額へ集計 することができません。

<同一固定資産が2頁にまたがる場合の注意>

例) 1 頁目から 2 頁目へ有価証券がまたがる場合の項目名

第11表-2 相続税	がかかる則	撞の明	細書				PAG	E:1
財	産		の	明	Å	H]
NO M 種	類	細	1	利用区分 路 柄	等	所在場	所 等	
21 NO 4 有価証	勝 2	その他	方式	○○商事㈱)	文京区〇〇 1丁目3番	5号	
22 1 NO	NO	(小	計)					
財産	の	明		細		分割が確定	した財産	ż.
数 量	単	価			月	汉得した人	取得財	撞の
固定資産評価	倍	数	価	額	0	り氏名	価	額
5,000 株	13,800		6	39,000,000	NO 1	国税 花子	69,1	000,000
			(3,000,000	NO			
頁選択 2 業務選	日月	末消日	終了	1 16行編集	7 1	算	表切替	

2頁目の先頭の種類及び細目名は手入力して ください。

前頁目の最終行が小計の場合は先頭行でも 項目名を表示します。

<11表 の『4.小計上限』について>

『4.小計上限・・・・「M欄」に<u>「4」小計上限</u>を入力すると<u>『1.小計』</u>の計算には<u>含まれず</u>、 ______の<u>計算のみに含まれます</u>。

例)

			貝	1	産		Ø		明		剎	
NO.	м		種	類		彩田	目			価	額	
1	4	<u>NO.</u> 1	土地		NO. 3	宅地					60,00	0
2	4	NO. 1			NO. 3				_		5,00	0
З		NO 1	土地		NO 2	畑					10,00	0
4		NO 1	土地		NO 2						5,00	 04小計上限は
5	.1	NO			NO	(c)	(計)				15,00	含まれない。 0 4小計 ト限は
6	2	NO	.((計)))	NO						80,00	合まれる。

例2)1行入力し、1行下の空行に4小計上限を入力した場合

М	No	種 類	No	細目	価額	
	1	土地	1	畑	60,000	
4						(空行)
	1		1	畑	5,000	
4						(空行)
	1		1	田	10,000	
	1		1	田	5,000	
1				(小計)	15,000	
2		((計))			80,000	

例3)通常入力の後4小計上限を入力した場合 - 小計は計算されません。

М	No	種 類	No	細目	価額
	1	土地	1	田	10,000
	1		1	田	5,000
4	1		1	畑	5,000
4	1		1	畑	60,000
1				(小計)	0
2		((計))			80,000

<30:第11表 合計欄の注意>

財務メニュ	-											
第11副	長-30 ∶	相紛	観がか:	かる財産	の明細	書					PAGE:1	
		,					- 1					
りり	産収得	しみ	141	~ ^ = L \		-#+ ->			67		/	
首た	人の氏	<u> </u>	「谷人の	の合計し	甲野	化士		甲野	一郎			
対	制財産			H					H.			
0;)曲額	U	498	,59Z,151	25	5,646,3	5U	129	,067,118	\boldsymbol{k}		
計末	分割財									-		
産	の価額	2		900,000		450,0	00		112,500			
名	・人の財											
表産	の価額	3	499	492.151	25	7.096.3	50	129	179.618			
※参考	表示(第1:	1表の明滞	細より)	税務	幸子		甲野	二郎	甲野	三郎	
未	分割財產	Ĕの	価額				Ħ		Щ.		Ħ	
			900,000	円	11:	2,678,6	83		100,000		100,000	
各	人の財産	Ĕの	価額									
	4	09,	492,151	円		112,5	00		112,500		112,500	
取往	尋財産σ)価	顉									
	4	98.,	592,151	円	11:	2,791,1	83		212,500		212,500	
「百選打	日常業務	公望		周抹消	国線	7 87	編	主 🏿 浦	質	同夫	初替	

第11・11の2表の付表1

100

□抹消□終了||●行編集|□演算|

46,215,000

夏選択【業務選

15.404.999

財務メニュ 第11・11の2表の付表1 小規模宅地等の課税価格の計算明細書 PAGE:1 割合が変わった場合は手入力で割合を変更する ことができます。 1 特例の適用にあたっての同意 特例の対象となる財産を取得した全ての人の氏名 名 NO 氏 NO NO 氏 氏 名 小規模宅地等の明細 2 課税価格の計算に当たって減額される金額の割合 [1] 特定居住用 [2] 特定事業用 [3]特定同族会社用 [4] 貸付事業用 80 / 100 80 / 100 80 / 100 50 / 100] 頁選択 | 2業務選| 表切替 □抹消圓終了 圖行編集 □演算 割合の計算はPage1に表示している番号を 財務メ
 第11・11の2表の付表1
 小規模宅地等の課税価格の計算明細書

 ※(防支)より番号と氏名Noが一致する③企を転記する場合は[1]…

 ①
 小規模宅地等の種類の番号『1~4』を必ず入力して下さい。

 番号 種類
 ① 取得者氏名
 事業内容

 ②
 所 在 地 番

 1
 1

 1
 1

 1
 1
 PAGE:2 元に計算します。(P.41参照) 『種類欄』に番号を入力し、 演算 (F7)を ③ 面積 押してください。 m 82.5 NO
 NO
 同上

 1
 2
 国税
 一郎
 周上

 4
 1
 国税
 花子
 貸家
 ○○○ 3 丁目 5 番17号

 ④宅地等の価額
 ⑤
 面積
 ⑥少規模宅地額
 割合
 ⑦ 減額金額
 2 82.5 3 150 ⑧ 算入価額 п 25,740,000 32,175,000 100 32,175,000 82.5 6,435,000 80 32,175,000 100 25,740,000 82.5 6.435.000 32,175,000 30,809,999 100

30,810,001

表切替

未分割財産の価額は『円未満切り捨て』で 計算します。

未分割財産の価額を手入力する場合は、 参考表示を元に「各人の合計」を入力して ください。

金額が違う人のみ入力してください。

- 付録5 -

オ務メニ 第1:	ユー 3表 債務7	B 71	凌式費田の明細	ŧ				PAGE	1:7
3	信款功?词	ू इन्हे	"毎田の会計額	-					
	格などを通	(組)							
	た人の氏名	oppen.	(各人の合計)	国税	花子	国税 一	₿ß		
債	負担する		円		円		一円		可
	債 務	1	24,056,340			24,0	56,340		
	負担しな								
務	い債務	2							
	計 ①+②	3	24.056.340			24,0	56,340		
葬	負担する								
궃	費用	4	3,359,600		3,359,600				
費	負担しな							,	
用	い費用	6							
	計 (4)+(5)	6)	3,359,600		3,359,600				
	合計		AR 198 A1A		A AFA AAA	A			
	(3+6)	$[\mathcal{D}]$	27,415,940		3,359,600	24,0	56,340		
*(2)・(5)の上	.段(に人力すると上野	を慢	光しく計算	シリント	します		
THE SECTION OF				. / 14					

及び は『円未満切り捨て』で計算 します。

負担しない債務及び費用を手入力する場合は、 『上段』に<u>、</u>全員手入力。し直してください。

端数処理について

例) 第7表



連動計算 全ての入力が終了したら、必ず [96・97・98]の連動計算を実行してください。

財務メニュー (pts/4)			
〇年以降用 相続税申 《表過	#告書A(D-09) 軽択》	ユーザコード・・・ 4 ユーザ名・・・・ 国税	1. 年度 ··令和 〇 太郎
1:被相続人の登録-1 3:相続人の登録-2 11:第1表-1 12:第1表-2 20:第2表 30:第3表 40:第4表 41:第4表の付表	42:第4表の2-1 43:第4表の2-2 50:第6表 70:第7表 80:第8表 90:第9表 100:第10表 131:第13表-1 132:第13表-2	133:第13表-3 134:第13表-4 141:第14表-1 142:第14表-2 151:第15表-1 152:第15表-2 160:修正第1表 161:修正第1表続-1 162:修正第1表続-3 163:修正第1表続-3	164:修正第1表統-4 165:修正第1表統-5 96:連動計算-1 97:連動計算-2 98:連動計算-3
表番号 … [
1 7°リンタ	A/22-~ 5 #	终了	❶相続B

入力順序によっては自動転記が正しく行われ ない場合があります。

転記モレや未計算を防ぐために、全ての入 力が終了したら、必ず連動計算を行ってく ださい。

第13表
修正申告書

修正申告入力が確定後に相続人登録の削除を行い、再度第1表より転記をすると (ロ)の金額が正しくソートしません。

万が一上記の作業を行う場合は、各人の(口)の金額を必ずチェックしてください。



「税務 幸子」分の(口)の金額が残ってしまいます。